

令和 6 年度 住民満足度調査
結果報告書

令和 7 年 1 月
下 諏 訪 町

目次

1	調査の目的	2
2	調査の概要	2
3	調査結果	3
①	15歳以上の町民	
	・ 回答者属性	3
	・ 下諏訪町への意識・生活満足度について	8
	・ 下諏訪町のまちづくり施策評価（満足度・重要度調査）	12
	・ 町からの情報提供と今後の行政運営について	18
	・ 今後のまちの姿について	20
	・ まちづくりに対しての意見、提案など	22
②	小学校6学年	
	・ 回答者属性	23
	・ 下諏訪町への意識について	24
	・ 下諏訪町のまちづくりについて	26
	・ 今後のまちの姿について	29
	・ まちづくりに対しての意見、提案など	30
③	中学校3学年	
	・ 回答者属性	31
	・ 下諏訪町への意識について	32
	・ 下諏訪町のまちづくりについて	34
	・ 今後のまちの姿について	37
	・ まちづくりに対しての意見、提案など	38

1 調査の目的

この調査は、令和8年4月からスタートする「第8次下諏訪町総合計画」の策定にあたり、住民の現在の町政に対する満足度、住民が考える下諏訪町の現状と課題、下諏訪町の理想の将来像等を把握し、今後のまちづくりを考えるうえでの基礎資料とするために実施したものです。

2 調査の概要

○調査対象：①15歳以上（平成21年4月1日以前生まれ）の下諏訪町民1,000人（永住外国人を含む）を住民基本台帳から無作為抽出して無記名調査

＜令和6年4月1日現在住民基本台帳登録者16,903人の5.92%にあたる＞

②下諏訪南小学校・下諏訪北小学校の6学年全員に無記名調査

③下諏訪中学校・下諏訪社中学校の3学年全員に無記名調査

○調査期間：①令和6年9月12日（木）から10月11日（金）まで

②・③令和6年9月18日（水）から10月11日（金）まで

○調査方法：①郵送によるアンケート調査票の配布・回収（オンライン回答も受付）

②・③各学校を通じて直接アンケート調査票を配布・回収

○配布、回収結果

区分	配布数	回収数	回収率
①15歳以上	1,000	394	39.4%
（前回）	1,000	381	38.1%
②小学校6学年	143	123	86.0%
（前回）	156	145	92.9%
③中学校3学年	141	119	84.4%
（前回）	156	135	86.5%

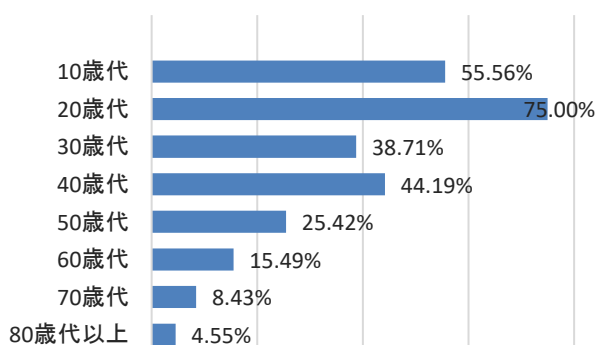
※次ページ以降の調査結果については、回答数に対する比率を示していますが、小数点以下第3位の四捨五入により、合計が100%にならない場合があります。

（参考）①15歳以上におけるオンラインによる回答率

アンケート調査票総回収数：394（うち、郵送による回収）315（79.95%）

（うち、オンライン回答）79（20.05%）

年代	オンライン回答率
10歳代	55.56%
20歳代	75.00%
30歳代	38.71%
40歳代	44.19%
50歳代	25.42%
60歳代	15.49%
70歳代	8.43%
80歳代以上	4.55%

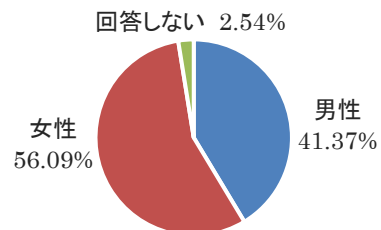


3 調査結果 < ① 15歳以上の町民 >

回答者属性

1. 性別

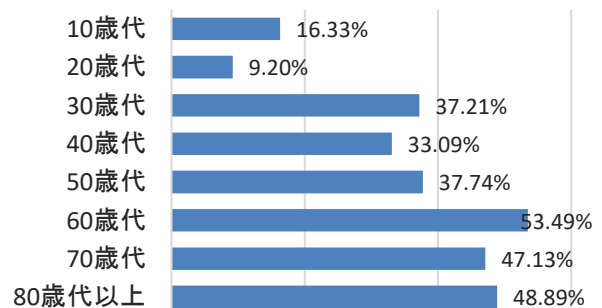
回答	件数（件）	割合（％）
男性	163	41.37%
女性	221	56.09%
回答しない	10	2.54%
合計	394	100.00%



2. 年齢

回答	件数（件）	回収率（％）
10歳代	9	16.33%
20歳代	8	9.20%
30歳代	31	37.21%
40歳代	43	33.09%
50歳代	59	37.74%
60歳代	71	53.49%
70歳代	83	47.13%
80歳代以上	88	48.89%
無回答	2	-
合計	394	-

（参考）年代別調査票回収率

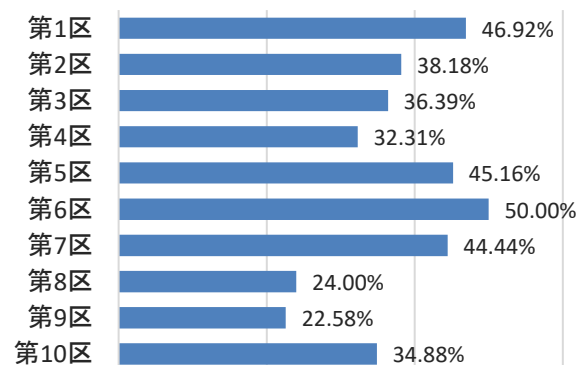


- ・回答者の性別は男性 41.37%、女性 56.09%、回答しないが 2.54% となり、男性より女性が 14.72 ポイント多くなっています。
- ・回収率が最も高い年代は「60歳代」で 53.49% となっており、続いて「80歳代以上」が 48.89%、「70歳代」が 47.13% と、高齢層で高い回収率が見られます。
- ・回収率が最も低い年代は「20歳代」で 9.20%、「10歳代」も 16.33% と低く、若年層では調査への参加率が低い傾向です。

3. 居住区

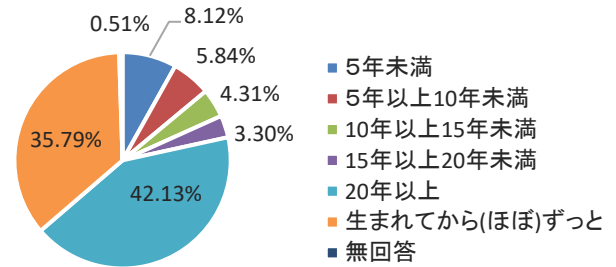
回答	件数（件）	回収率（％）
第1区	61	46.92%
第2区	21	38.18%
第3区	143	36.39%
第4区	21	32.31%
第5区	28	45.16%
第6区	19	50.00%
第7区	40	44.44%
第8区	12	24.00%
第9区	7	22.58%
第10区	30	34.88%
無回答	12	-
合計	394	-

（参考）居住区別調査票回収率



4. 居住年数

回答	件数 (件)	割合 (%)
5 年未満	32	8.12%
5 年以上 10 年未満	23	5.84%
10 年以上 15 年未満	17	4.31%
15 年以上 20 年未満	13	3.30%
20 年以上	166	42.13%
生まれてから(ほぼ)ずっと	141	35.79%
無回答	2	0.51%
合計	394	100%



・ 居住区別調査票回収率における前回調査 (R4) との比較結果は、以下のとおりです。

第 1 区	+12.3 ポイント	第 6 区	+ 8.97 ポイント
第 2 区	△6.26 ポイント	第 7 区	△ 3.91 ポイント
第 3 区	+1.01 ポイント	第 8 区	△16.38 ポイント
第 4 区	△9.88 ポイント	第 9 区	△16.13 ポイント
第 5 区	+8.65 ポイント	第 10 区	± 0.00 ポイント

・ 居住年数における前回調査 (R4) との比較結果は、以下のとおりです。

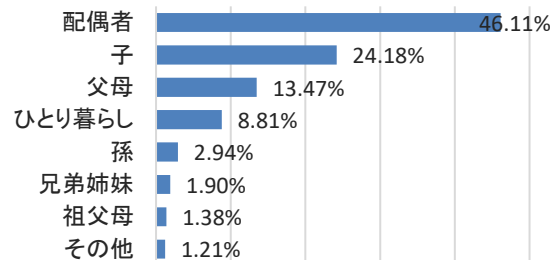
5 年未満	+ 2.35 ポイント
5 年以上 10 年未満	+ 0.85 ポイント
10 年以上 15 年未満	△ 1.73 ポイント
15 年以上 20 年未満	△ 4.57 ポイント
20 年以上	+ 1.45 ポイント
生まれてから(ほぼ)ずっと	+ 1.14 ポイント

・ 居住年数は 7 割以上が「20 年以上」または「生まれてから(ほぼ)ずっと」と回答しており、長期居住者の割合が多数を占めています。

・ 5 年未満の居住者が 8.12% (前回比 +2.35 ポイント) 存在することから一定数の移住者があることが伺えますが、10 年以上～20 年未満の居住者は減少傾向です。

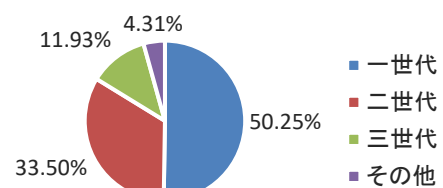
5. 家族構成

回答	件数 (件)	割合 (%)
配偶者	267	46.11%
子	140	24.18%
父母	78	13.47%
ひとり暮らし	51	8.81%
孫	17	2.94%
兄弟姉妹	11	1.90%
祖父母	8	1.38%
その他	7	1.21%
合計	579	100.00%



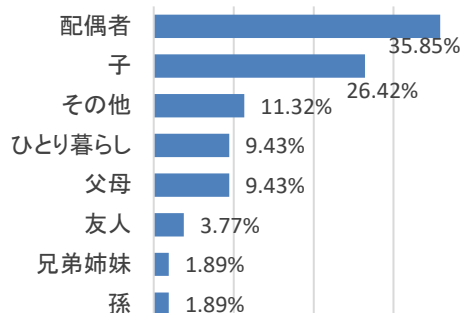
(参考) 世代構成の割合

回答	件数 (件)	割合 (%)
一世代	198	50.25%
二世世代	132	33.50%
三世世代	47	11.93%
その他	17	4.31%
合計	394	100%



(参考) 項番4で居住年数が「5年未満」と回答した方の家族構成

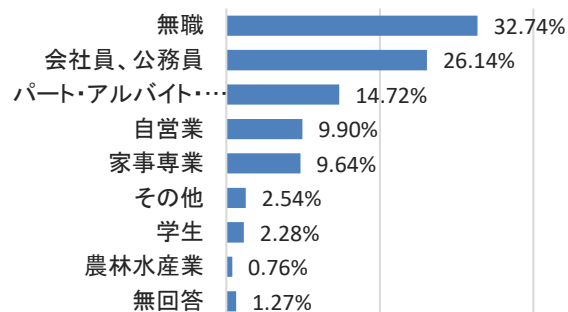
回答	件数(件)	割合(%)
配偶者	19	35.85%
子	14	26.42%
その他	6	11.32%
ひとり暮らし	5	9.43%
父母	5	9.43%
友人	2	3.77%
兄弟姉妹	1	1.89%
孫	1	1.89%
合計	53	100%



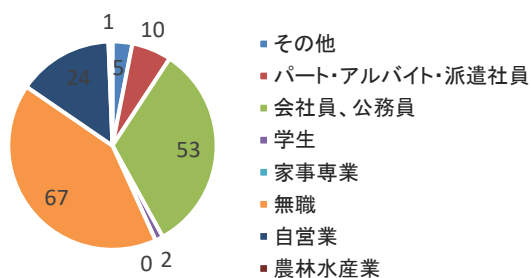
- ・ 項番5の家族構成におけるひとり暮らしの割合は、前々回調査(R1)4.92%、前回調査(R4)7.17%、今回調査8.81%と増加傾向です。
- ・ 全体の回答から家族構成の多様性が見られますが、家族構成は単身世帯、夫婦世帯が約半数を占め、3世代以上の同居は11.93%です。
- ・ 居住年数が5年未満の移住者における、最も多い家族構成は配偶者、子と同居するケースです。

6. 職業

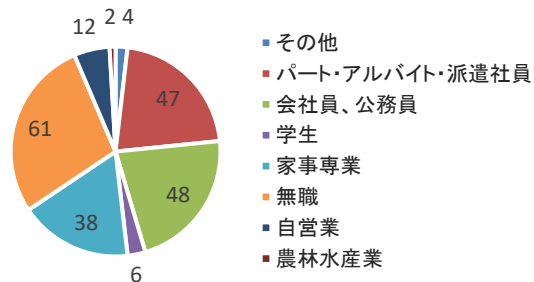
回答	件数(件)	割合(%)
無職	129	32.74%
会社員、公務員	103	26.14%
パート・アルバイト・派遣社員	58	14.72%
自営業	39	9.90%
家事専業	38	9.64%
その他	10	2.54%
学生	9	2.28%
農林水産業	3	0.76%
無回答	5	1.27%
合計	394	100.00%



(参考) 男性の就業状況



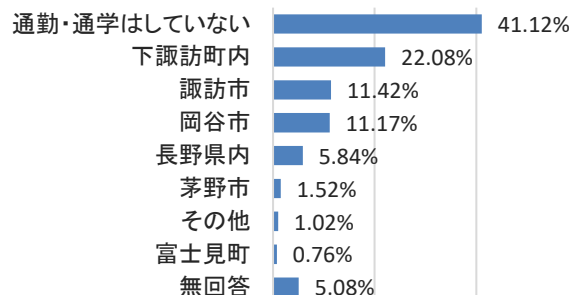
(参考) 女性の就業状況



7. 通勤、通学先

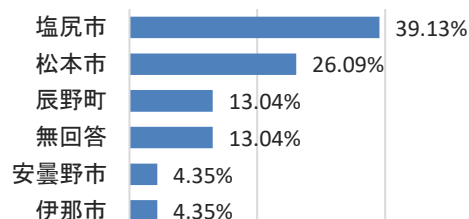
回答	件数(件)	割合(%)
通勤・通学はしていない	162	41.12%
下諏訪町内	87	22.08%
諏訪市	45	11.42%
岡谷市	44	11.17%
長野県内	23	5.84%
茅野市	6	1.52%
その他	4	1.02%
富士見町	3	0.76%
無回答	20	5.08%
合計	394	100.00%

その他の内訳：山梨県

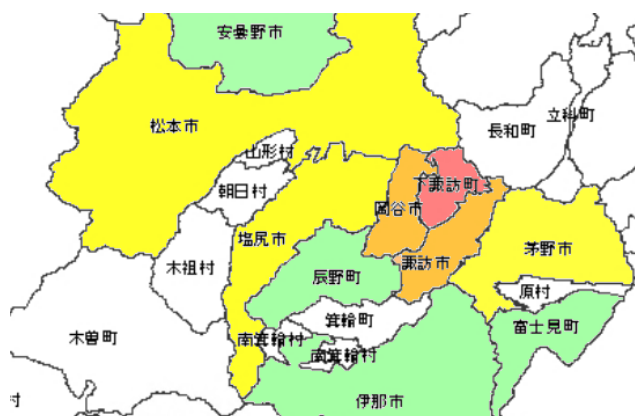


長野県内の地域（諏訪地域を除く）の内訳

回答	件数(件)	割合(%)
塩尻市	9	39.13%
松本市	6	26.09%
辰野町	3	13.04%
無回答	3	13.04%
安曇野市	1	4.35%
伊那市	1	4.35%
合計	23	100.00%



通勤・通学等関係市町村地図



・職業における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。

無職	+ 2.03 ポイント	その他	+ 1.49 ポイント
会社員・公務員	△ 3.52 ポイント	学生	△ 2.71 ポイント
自営業	+ 1.24 ポイント	農林水産業	△ 0.55 ポイント
家事専業	△ 0.33 ポイント	パート・アルバイト・派遣社員	+ 1.07 ポイント

・「家事専業」と「無職」の合計は 42.38%（前回比+1.70 ポイント）です。

・通勤、通学先における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。

下諏訪町内	+ 0.30 ポイント	通勤通学なし	△ 3.24 ポイント
諏訪地域内	+ 0.20 ポイント	その他	△ 1.08 ポイント
長野県内	△ 1.25 ポイント		

(参考) 就業・職業と勤務地・通勤先との関係性

・「パート・アルバイト・派遣社員」は、町内や近隣市で働く傾向が強いです。

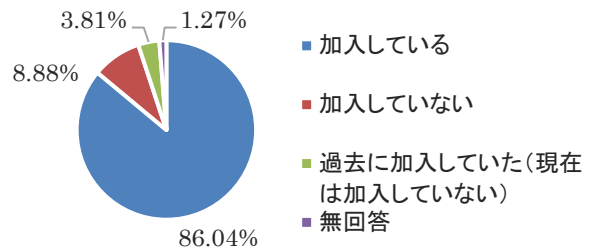
下諏訪町内 (22 人)、岡谷市 (15 人)、諏訪市 (13 人)

・「会社員、公務員」は、町内だけでなく周辺市にも多く通勤しています。

岡谷市 (28 人)、諏訪市 (25 人)、下諏訪町内 (18 人)

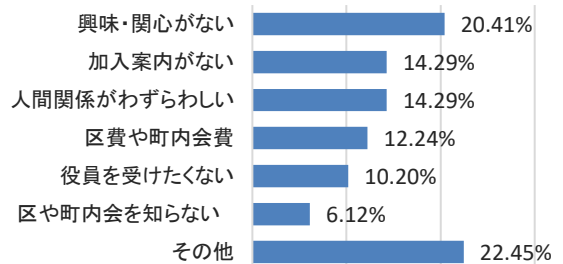
8. 区・町内会加入状況

回答	件数(件)	割合(%)
加入している	339	86.04%
加入していない	35	8.88%
過去に加入していた	15	3.81%
無回答	5	1.27%
合計	394	100.00%



区・町内会未加入の理由

回答	件数(件)	割合(%)
区や町内会に興味・関心がない	10	20.41%
加入案内がない	7	14.29%
人間関係がわずらわしい	7	14.29%
区費や町内会費	6	12.24%
役員を受けたくない	5	10.20%
区町内会を知らない	3	6.12%
その他	11	22.45%
合計	49	100.00%



その他の理由: アパート入居のため、高齢のため、病気等、転勤、言語の問題、任意団体のため

- ・ 区、町内会に「加入している」と回答した割合は、前々回調査(R1)92.93%、前回調査(R4)91.08%、今回調査86.04%であり、加入者は減少傾向となっています。
- ・ 未加入の理由として、「役員を受けたくない」と回答した住民の割合に変化が見られます。前々回調査では29.17%と最多回答でしたが、前回調査では8.11%、今回調査10.20%となっており、回答割合が減少しています。
- ・ 一方で「区や町内会に興味・関心がない」と回答した割合は、前々回調査4.17%、前回調査13.51%、今回調査20.41%となっており、地域活動への興味が薄れてきていることが示唆されます。

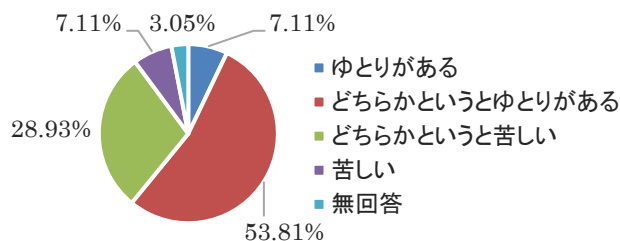
(参考) 年代別の加入率、未加入理由の差異

- ・ 60歳代以上では91.34%と加入率が高く、地域活動への積極的な参加が見られる一方で、50歳代以下では80.82%と加入率が低く、未加入理由として「興味がない」、「人間関係がわずらわしい」といった回答が多い傾向にあります。

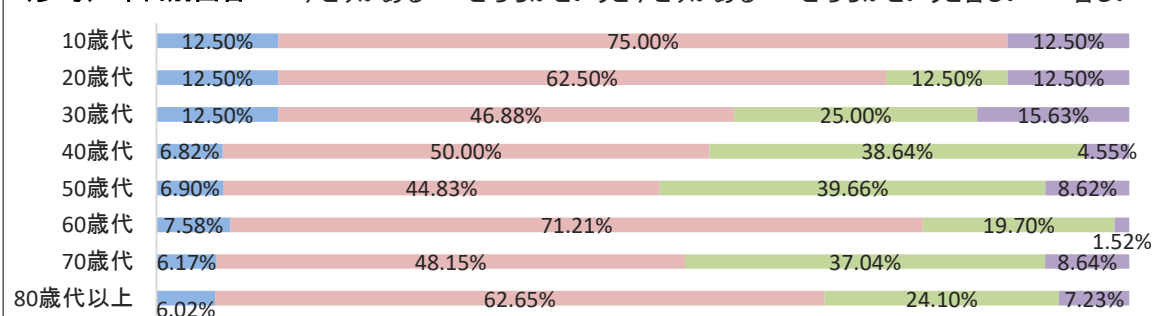
下諏訪町への意識・生活満足度について

9. 総合的にみた現在の暮らしの状況

回答	件数(件)	割合(%)
ゆとりがある	28	7.11%
どちらかというゆとりがある	212	53.81%
どちらかというときつい	114	28.93%
ときつい	28	7.11%
無回答	12	3.05%
合計	394	100.00%

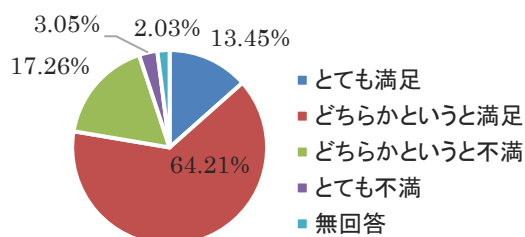


(参考) 年代別回答

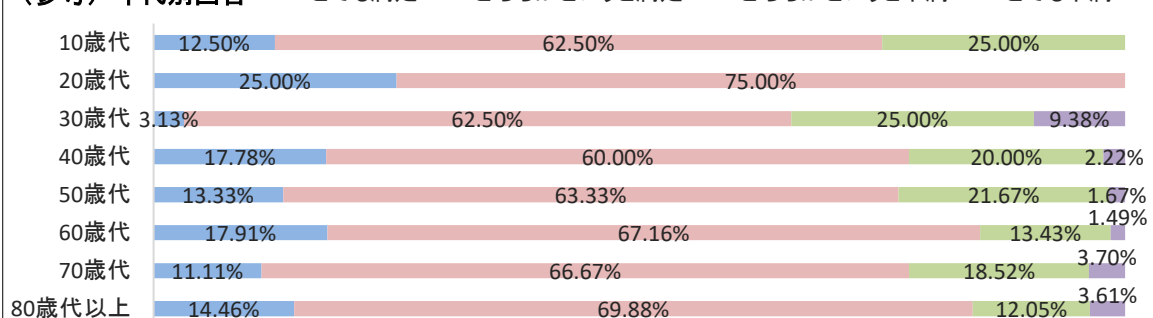


10. 現在の下諏訪町での生活満足度

回答	件数(件)	割合(%)
とても満足	53	13.45%
どちらかという満足	253	64.21%
どちらかという不満	68	17.26%
とても不満	12	3.05%
無回答	8	2.03%
合計	394	100.00%



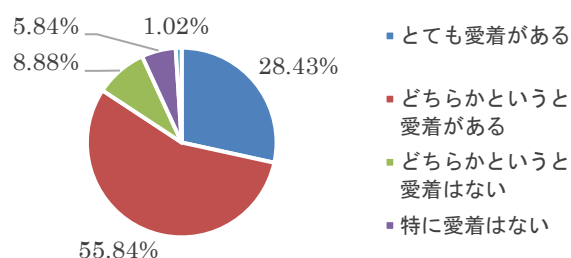
(参考) 年代別回答



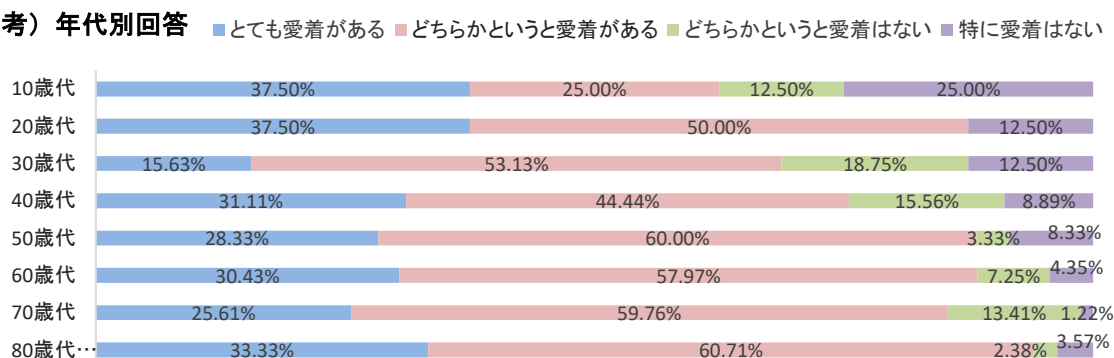
- ・ 項番9で生活に「ゆとりがある」「どちらかというゆとりがある」と回答した割合は60.92%で、前回調査(R4)から8.16ポイント増加しました。
- ・ 項番10で町での生活に「とても満足」「どちらかという満足」と回答した割合は77.66%で、前回調査(R4)から2.59ポイント増加しました。
- ・ 年代別に見ると、若年層と高齢層の満足度が比較的高い一方で、中年層(30~50歳代)は「どちらかというときつい」や「どちらかという不満」と回答する割合が多くなっています。

11. 下諏訪町への愛着度

回答	件数(件)	割合(%)
とても愛着がある	112	28.43%
どちらかという愛着がある	220	55.84%
どちらかという愛着はない	35	8.88%
特に愛着はない	23	5.84%
無回答	4	1.02%
合計	394	100.00%



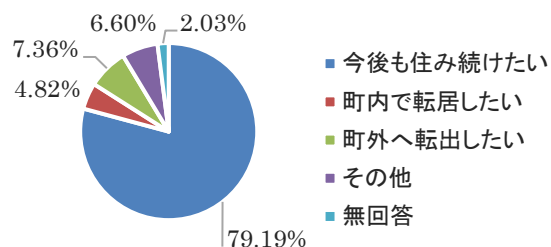
(参考) 年代別回答



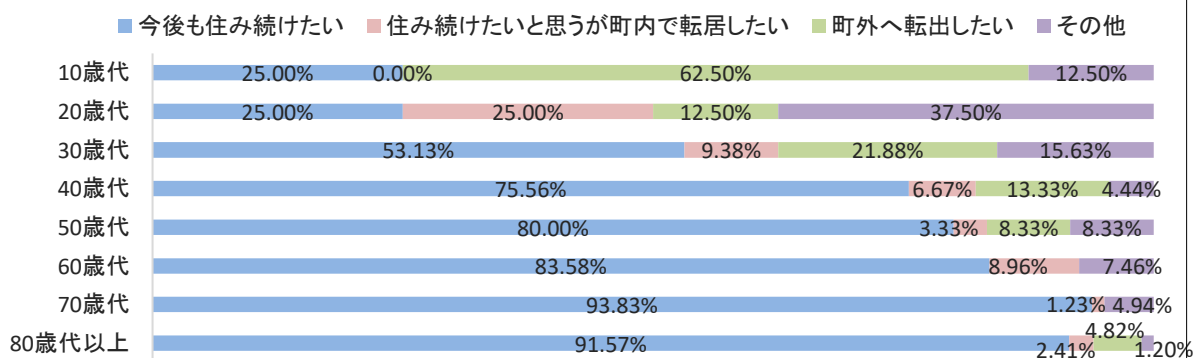
・全体の84.27%（前回比△0.24ポイント）が「愛着がある」と回答しています。

12. 今後も下諏訪町に住み続けたいか

回答	件数(件)	割合(%)
今後も住み続けたい	312	79.19%
町内で転居したい	19	4.82%
町外へ転出したい	29	7.36%
その他	26	6.60%
無回答	8	2.03%
合計	394	100.00%



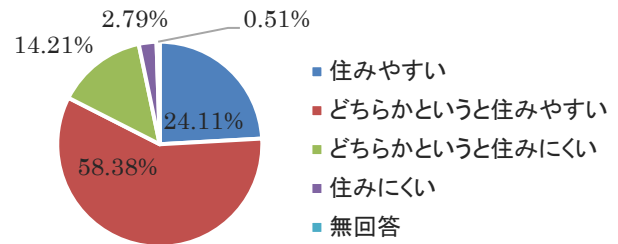
(参考) 年代別回答



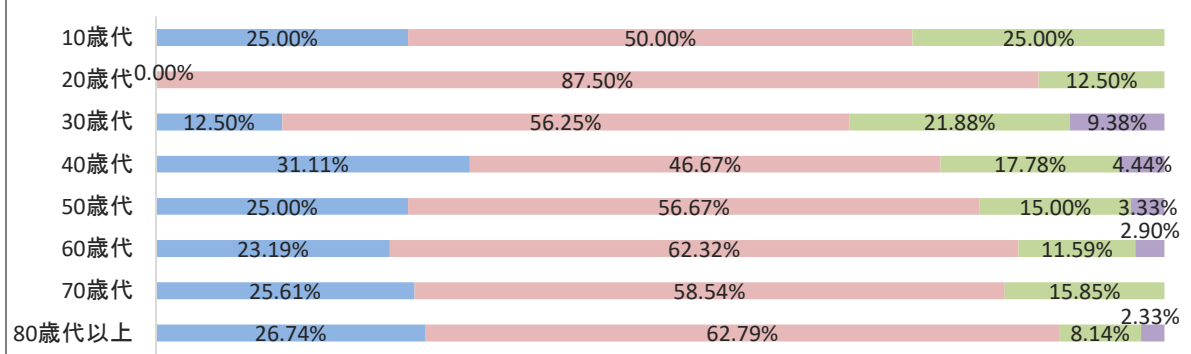
・下諏訪町内に「住み続けたい」と回答した割合が84.01%（前回比△3.66ポイント）となり、8割以上が引き続き町内での居住を希望しています。特に高齢層と中年層で定住意向が強く、若年層では低くなっています。

13. 現在の下諏訪町は住みやすい町だと思うか

回答	件数(件)	割合(%)
住みやすい	95	24.11%
どちらかというと住みやすい	230	58.38%
どちらかというと住みにくい	56	14.21%
住みにくい	11	2.79%
無回答	2	0.51%
合計	394	100.00%



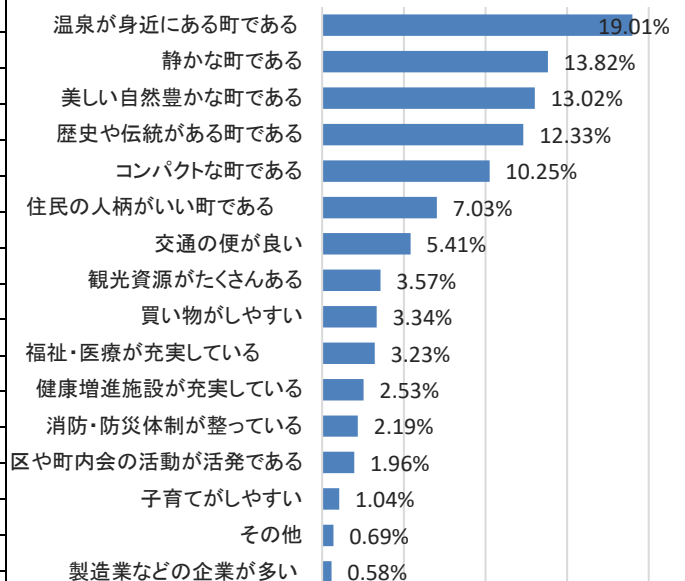
(参考) 年代別回答



- ・全体の82.49%(前回比+3.75ポイント)が「住みやすい」と回答しています。
- ・項番11で「愛着がある」と回答した方の88.25%(293/332人)が「住みやすい」と回答しています。

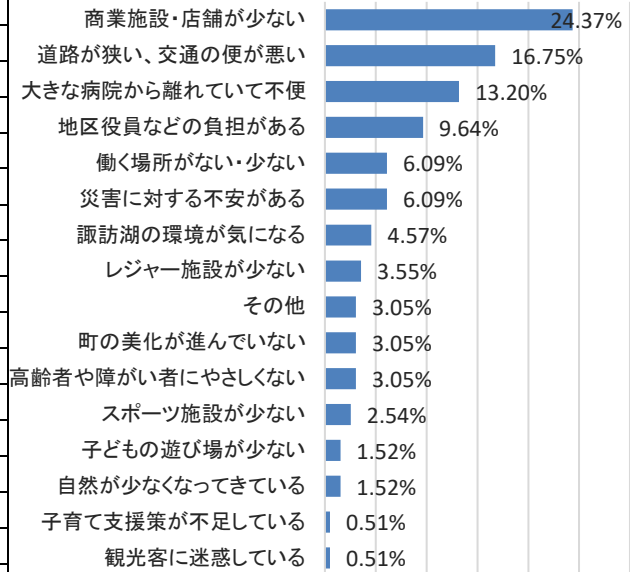
13-1. 項番13で住みやすいと答えた方の理由(※複数回答可)

回答	件数(件)	割合(%)
温泉が身近にある町である	165	19.01%
静かな町である	120	13.82%
美しい自然豊かな町である	113	13.02%
歴史や伝統がある町である	107	12.33%
コンパクトな町である	89	10.25%
住民の人柄がいい町である	61	7.03%
交通の便が良い	47	5.41%
観光資源がたくさんある	31	3.57%
買い物がしやすい	29	3.34%
福祉・医療が充実している	28	3.23%
健康増進施設が充実している	22	2.53%
消防・防災体制が整っている	19	2.19%
区や町内会の活動が活発である	17	1.96%
子育てがしやすい	9	1.04%
その他	6	0.69%
製造業などの企業が多い	5	0.58%
合計	868	100.00%



13-2. 項番 13 で住みにくいと答えた方の理由（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
商業施設・店舗が少ない	48	24.37%
道路が狭い、交通の便が悪い	33	16.75%
大きな病院から離れていて不便	26	13.20%
地区役員などの負担がある	19	9.64%
働く場所がない・少ない	12	6.09%
災害に対する不安がある	12	6.09%
諏訪湖の環境が気になる	9	4.57%
レジャー施設が少ない	7	3.55%
その他	6	3.05%
町の美化が進んでいない	6	3.05%
高齢者や障がい者にやさしくない	6	3.05%
スポーツ施設が少ない	5	2.54%
子どもの遊び場が少ない	3	1.52%
自然が少なくなっている	3	1.52%
子育て支援策が不足している	1	0.51%
観光客に迷惑している	1	0.51%
合計	197	100.00%



・住みやすいと思う理由における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。

- 1位 温泉が身近にある町である (↑ 4位)
- 2位 静かな町である (↑ 3位)
- 3位 美しい自然豊かな町である (↓ 2位)
- 4位 歴史や伝統がある町である (↑ 5位)
- 5位 コンパクトな町である (↓ 1位)

・住みやすい理由の上位5位に大きな変動はありません。

・住みにくいと思う理由における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。

- 1位 商業施設・店舗が少ない (← 1位)
- 2位 道路が狭い、交通の便が悪い (← 2位)
- 3位 大きな病院から離れていて不便 (↑ 4位)
- 4位 地区役員などの負担がある (↓ 3位)
- 5位 働く場所がない・少ない (← 5位)

・住みにくい理由の上位5位に大きな変動はありません。前回調査に引き続き「買い物が不便」、「交通の便が悪い」など、生活利便性の課題が指摘されています。

(参考) 定住意向と愛着度の相関関係

- ・項番12で「今後も住み続けたい」と答えた層では、全体の91.0%が町への愛着を感じています。(とても愛着がある：32.6%、どちらかというと愛着がある：58.4%)
- ・「町外へ転出したい」と回答した層では、全体の31.0%が愛着を感じています。(とても愛着がある：3.4%、どちらかというと愛着がある：27.6%)

(参考) 定住意向と居住性の向上について

- ・住み続けたいが住みにくいと回答した方の最も多い理由は、「商業施設・店舗が少ない」で、日常生活における買い物の利便性が課題として挙げられています。次いで「道路が狭い、交通の便が悪い」(16件)、「大きな病院から離れていて不便」(15件)が挙げられ、交通インフラや医療施設の充実が求められています。
- ・「地区役員などの負担がある」(13件)や「災害に対する不安がある」(7件)も一定数見られ、地域生活や安全性への懸念が伺えます。

下諏訪町のまちづくり施策評価（満足度・重要度調査）

14. まちづくりにおける「現状の満足度」と「これからの重要度」

（１）評価方法

第7次総合計画において、施策の大綱として位置付けられた各分野（未来、自然、ひと、健康、活力、暮らし）に基づく、47項目の各施策について「現状の満足度」と「今後の重要度」について、どのように感じているかを選択形式で調査。

（２）評価基準

評価点	4	3	2	1	0
現状の満足度	満足している	どちらかという満足	どちらかという満足していない	満足していない	わからない
これからの重要度	重要	どちらかという重要	あまり重要でない	重要でない	わからない

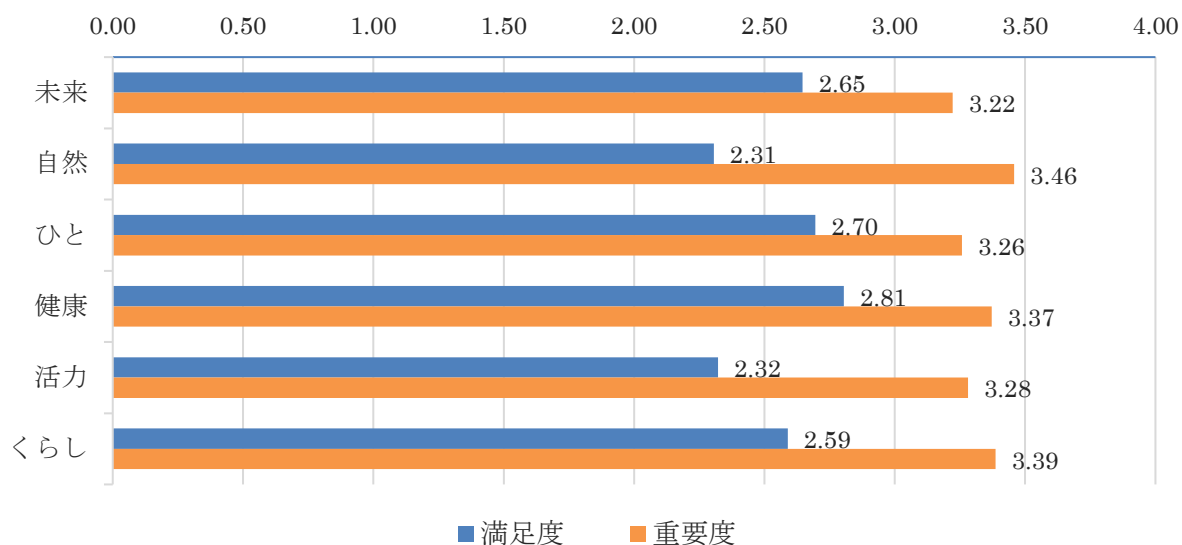
（３）集計方法

現状の満足度、これからの重要度それぞれにおいて、「わからない」と回答したものを除いた平均値。

（４）評価結果

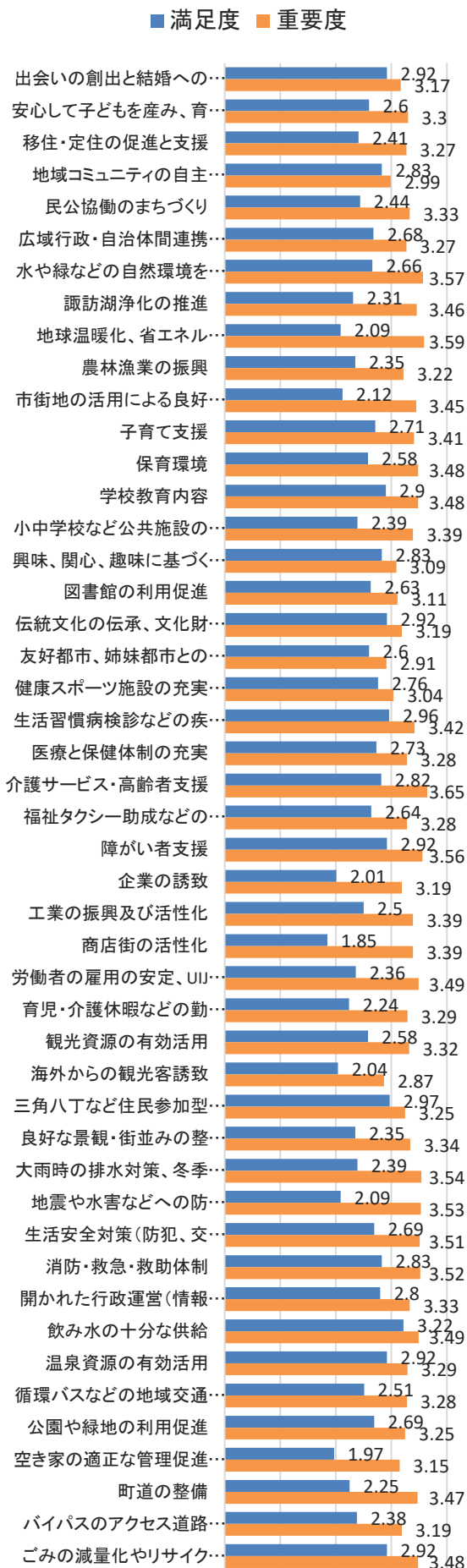
（ア）分野別の平均値

	未来	自然	ひと	健康	活力	暮らし
満足度	2.65	2.31	2.70	2.81	2.32	2.59
重要度	3.22	3.46	3.26	3.37	3.28	3.39

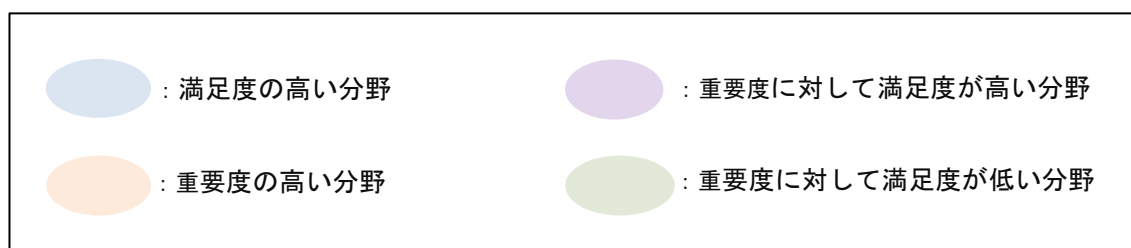
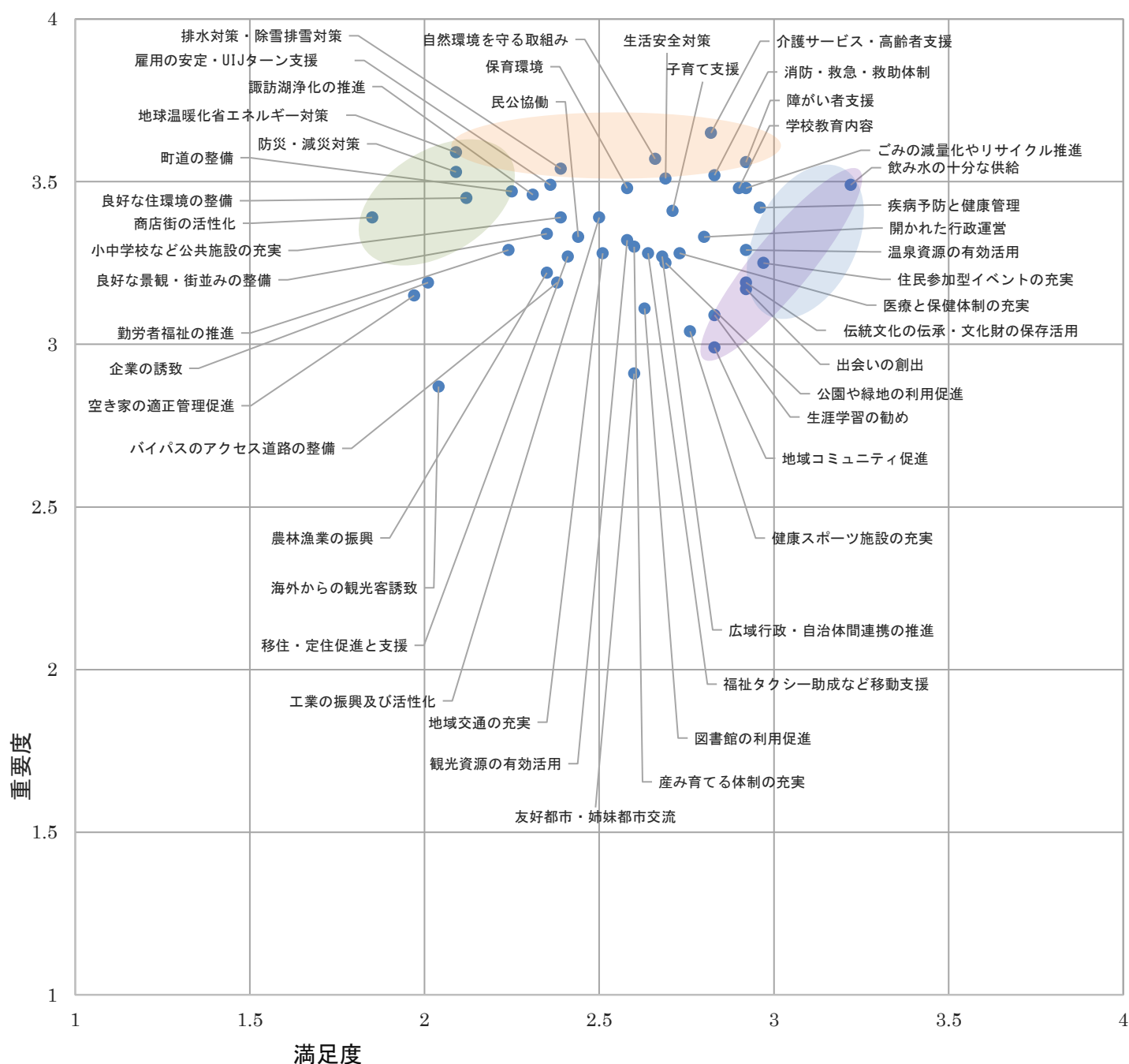


(イ) 施策ごとの平均値

	施策	満足度	重要度
未来	出合いの創出と結婚への支援	2.92	3.17
	安心して子どもを産み、育てる体制	2.60	3.30
	移住・定住の促進と支援	2.41	3.27
	地域コミュニティの自主的・自立的活動の促進	2.83	2.99
	民公協働のまちづくり	2.44	3.33
	広域行政・自治体間連携の推進	2.68	3.27
自然	水や緑などの自然環境を守る取組み	2.66	3.57
	諏訪湖浄化の推進	2.31	3.46
	地球温暖化、省エネルギーへの対策	2.09	3.59
	農林漁業の振興	2.35	3.22
	市街地の活用による良好な住環境の整備	2.12	3.45
ひと	子育て支援	2.71	3.41
	保育環境	2.58	3.48
	学校教育内容	2.90	3.48
	小中学校など公共施設の充実	2.39	3.39
	興味、関心、趣味に基づく生涯学習	2.83	3.09
	図書館の利用促進	2.63	3.11
	伝統文化の伝承、文化財の保存と活用	2.92	3.19
	友好都市、姉妹都市との交流	2.60	2.91
健康	健康スポーツ施設の充実と活用	2.76	3.04
	生活習慣病検診などの疾病予防と健康管理	2.96	3.42
	医療と保健体制の充実	2.73	3.28
	介護サービス・高齢者支援	2.82	3.65
	福祉タクシー助成などの移動支援	2.64	3.28
	障がい者支援	2.92	3.56
活力	企業の誘致	2.01	3.19
	工業の振興及び活性化	2.50	3.39
	商店街の活性化	1.85	3.39
	労働者の雇用の安定、UIJターンの支援	2.36	3.49
	育児・介護休暇などの勤労者福祉の推進	2.24	3.29
	観光資源の有効活用	2.58	3.32
	海外からの観光客誘致	2.04	2.87
	三角八丁など住民参加型イベントの充実	2.97	3.25
	良好な景観・街並みの整備、保全	2.35	3.34
暮らし	大雨時の排水対策、冬季の除雪・排雪対策	2.39	3.54
	地震や水害などへの防災・減災対策	2.09	3.53
	生活安全対策（防犯、交通安全、消費生活）	2.69	3.51
	消防・救急・救助体制	2.83	3.52
	開かれた行政運営（情報公開、広報、情報化）	2.80	3.33
	飲み水の十分な供給	3.22	3.49
	温泉資源の有効活用	2.92	3.29
	循環バスなどの地域交通の充実	2.51	3.28
	公園や緑地の利用促進	2.69	3.25
	空き家の適正な管理促進と利活用	1.97	3.15
	町道の整備	2.25	3.47
	バイパスのアクセス道路の整備	2.38	3.19
	ごみの減量化やリサイクルの推進	2.92	3.48



(ウ) 現状の満足度・これからの重要度における施策ごとの平均値の分布



満足度の高い分野、施策

分野	施策	満足度	重要度
くらし	飲み水の十分な供給	3.22	3.49
活力	三角八丁など住民参加型イベントの充実	2.97	3.25
健康	生活習慣病検診などの疾病予防と健康管理	2.96	3.42
未来	出会いの創出と結婚への支援	2.92	3.17
ひと	伝統文化の伝承、文化財の保存と活用	2.92	3.19

重要度の高い分野、施策

分野	施策	満足度	重要度
健康	介護サービス・高齢者支援	2.82	3.65
自然	地球温暖化、省エネルギーへの対策	2.09	3.59
自然	水や緑などの自然環境を守る取り組み	2.66	3.57
健康	障がい者支援	2.92	3.56
くらし	大雨時の排水対策、冬季の除雪・排雪対策	2.39	3.54

重要度に対して満足度が高い分野、施策

分野	施策	満足度	重要度	差
未来	地域コミュニティの自主的・自立的活動の促進	2.83	2.99	0.16
未来	出会いの創出と結婚への支援	2.92	3.17	0.25
ひと	興味、関心、趣味に基づく生涯学習の勧め	2.83	3.09	0.26
ひと	伝統文化の伝承、文化財の保存と活用	2.92	3.19	0.27
くらし	飲み水の十分な供給	3.22	3.49	0.27

重要度に対して満足度が低い分野、施策

分野	施策	満足度	重要度	差
活力	商店街の活性化	1.85	3.39	1.54
自然	地球温暖化、省エネルギーへの対策	2.09	3.59	1.50
くらし	地震や水害などへの防災・減災対策	2.09	3.53	1.44
自然	市街地の活用による良好な住環境の整備	2.12	3.45	1.33
くらし	町道の整備	2.25	3.47	1.22

- ・満足度の高い分野では、前回調査(R4)においても満足度の高かった「飲み水の十分な供給」(満足度 3.22、重要度 3.49)や「住民参加型イベントの充実」(満足度 2.97、重要度 3.25)などが挙げられています。
- ・重要度の高い分野として、「介護サービス・高齢者支援」(重要度 3.65、満足度 2.82)や「地球温暖化、省エネルギーへの対策」(重要度 3.59、満足度 2.09)が挙げられ、特に健康・環境関連の課題に対する期待が高いことが示されました。
- ・重要度に対して満足度が高い評価群では、「地域コミュニティの自主的・自立的活動の促進」(差 0.16)や「出会いの創出と結婚への支援」など、第7次総合計画において人口減少の中であっても地域社会を維持するために必要な施策を盛り込んだ「未来」分野への一定の評価が見られました。
- ・重要度に対して満足度が低い評価群では、前回調査(R4)でも不満度が1位であった「商店街の活性化」(差 1.54)や、「防災・減災対策」(差 1.44)が挙げられ、商業振興や防災対策への不満が見られます。これらは、今後住民満足度向上を図るための重要な視点となります。

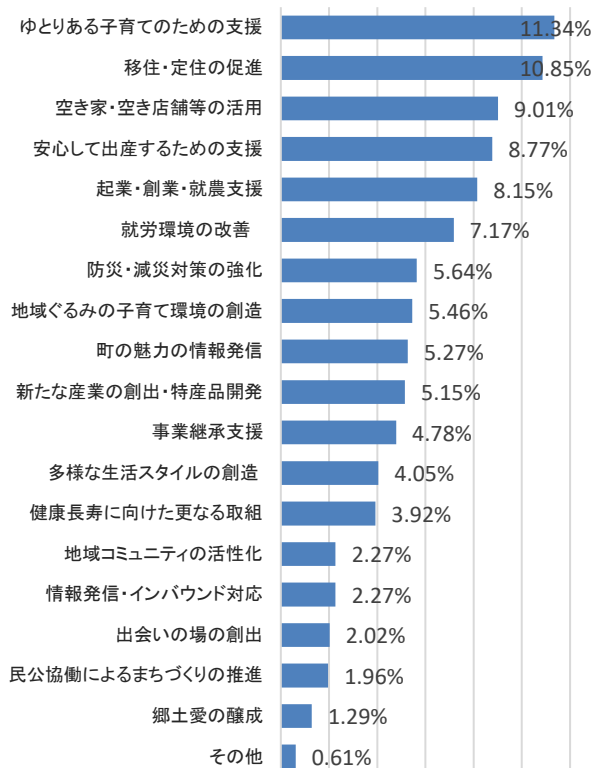
- (参考) 乳幼児、小中学生、高校生を含む子育て世帯における子育て支援満足度
- ・「満足」は約 19.6%、「どちらかという満足」は最も多く全体の約 44.6%を占めています。
 - ・「あまり満足していない」は約 25%、「満足していない」は約 10.7%で最小の割合でした。

- (参考) 高齢者世帯（75 歳以上）における高齢者支援満足度
- ・「満足」は約 17.5%で、「どちらかという満足」は最も多く全体の約 35.1%を占めています。
 - ・「あまり満足していない」は約 10.3%、「満足していない」は約 8.3%で最小の割合でした。

- (参考) 障がい者手帳所持者を含む世帯における障がい者支援満足度
- ・「満足」は約 21.2%で、「どちらかという満足」は最も多く全体の約 54.5%を占めています。
 - ・「満足していない」と「あまり満足していない」はそれぞれ約 12.1%となりました。

15. 今後の人口減少対策で重視する取組み（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
ゆとりある子育てのための支援	185	11.34%
移住・定住の促進	177	10.85%
空き家・空き店舗等の活用	147	9.01%
安心して出産するための支援	143	8.77%
起業・創業・就農支援	133	8.15%
就労環境の改善	117	7.17%
防災・減災対策の強化	92	5.64%
地域ぐるみの子育て環境の創造	89	5.46%
町の魅力の情報発信	86	5.27%
新たな産業の創出・特産品開発	84	5.15%
事業継承支援	78	4.78%
多様な生活スタイルの創造	66	4.05%
健康長寿に向けた更なる取組	64	3.92%
地域コミュニティの活性化	37	2.27%
情報発信・インバウンド対応	37	2.27%
出会いの場の創出	33	2.02%
民公協働によるまちづくりの推進	32	1.96%
郷土愛の醸成	21	1.29%
その他	10	0.61%
合計	1631	100.00%



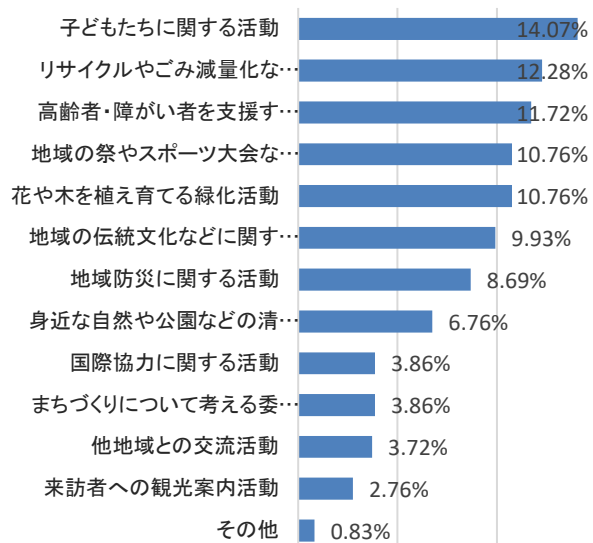
- ・ 今後の人口減少対策で重視する取組みにおける前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。

- | | | |
|-----|----------------|---------|
| 1 位 | ゆとりある子育てのための支援 | (↑ 5 位) |
| 2 位 | 移住・定住の促進 | (← 2 位) |
| 3 位 | 空き家・空き店舗等の活用 | (↑ 6 位) |
| 4 位 | 安心して出産するための支援 | (↑ 7 位) |
| 5 位 | 起業・創業・就農支援 | (↓ 1 位) |

- ・ 移住施策が引き続き重視されています。
- ・ 前回調査で 5 位の「ゆとりある子育てのための支援」のほか、6 位の「空き家・空き店舗等の活用」や、7 位の「安心して出産するための支援」が上位に挙げられ、人口減少対策において既存資源の活用や出産・育児環境の整備の重要性が高まっています。
- ・ 「起業・創業・就農支援」や「就労環境の改善」など、経済的な側面の施策も挙げられています。

16. 参加している、または今後参加してみたいと思う活動（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
子どもたちに関する活動	102	14.07%
リサイクルやごみ減量化などの活動	89	12.28%
高齢者・障がい者を支援する活動	85	11.72%
地域の祭やスポーツ大会などのイベント活動	78	10.76%
花や木を植え育てる緑化活動	78	10.76%
地域の伝統文化などに関する活動	72	9.93%
地域防災に関する活動	63	8.69%
身近な自然や公園などの清掃活動	49	6.76%
国際協力に関する活動	28	3.86%
まちづくりについて考える委員会などの活動	28	3.86%
他地域との交流活動	27	3.72%
来訪者への観光案内活動	20	2.76%
その他	6	0.83%
合計	725	100.00%

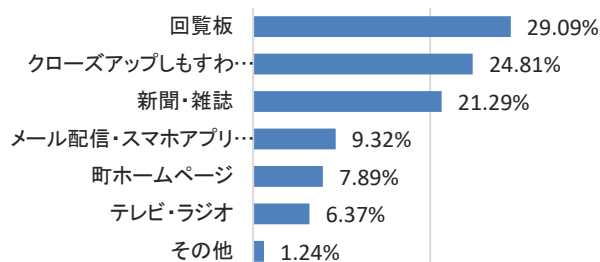


- ・「子どもたちに関する活動」（102 件）が最も多く挙げられ、地域の未来を担う子どもたちへの支援に関心を寄せていることがわかります。
- ・「リサイクルやごみ減量化などの活動」（89 件）といった自然や環境を守る取組みへの関心の高さも伺えます。

町からの情報提供と、今後の行政運営について

17. 町からの情報収集方法（※複数回答可）

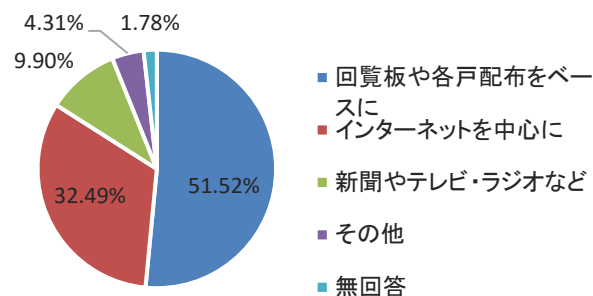
回答	件数(件)	割合(%)
回覧板	306	29.09%
クローズアップしもすわ	261	24.81%
新聞・雑誌	224	21.29%
メール配信・スマホアプリ	98	9.32%
町ホームページ	83	7.89%
テレビ・ラジオ	67	6.37%
その他	13	1.24%
合計	1052	100.00%



その他の情報取得先：SNS、インターネット検索、月刊ぶらざ、近隣、家族、知人など

18. 今後どのような形でお知らせするのが良いか

回答	件数(件)	割合(%)
回覧板や各戸配布をベースに行うのがよい	203	51.52%
ホームページ・メール・スマホアプリ等インターネットを中心にする方向がよい	128	32.49%
新聞やテレビ・ラジオなどの媒体を活用するのがよい	39	9.90%
その他	17	4.31%
無回答	7	1.78%
合計	394	100.00%



その他：「回覧板や各戸配布をベースに行うのがよい」と「ホームページ・メール・スマホアプリ等インターネットを中心にする方向がよい」の両方、LINE、YouTube ほか

・町からの情報収集方法における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。

- 1位 回覧板 (← 1位)
- 2位 クローズアップしもすわ (← 2位)
- 3位 新聞・雑誌 (← 3位)
- 4位 メール配信・スマホアプリ (↑ 7位)
- 5位 町ホームページ (↓ 4位)
- 6位 テレビ・ラジオ (↓ 5位)

・「メール配信・スマホアプリ」から情報収集をしている割合が9.32%となり、前回調査(R4)で「町HP以外のインターネット」と回答した割合の0.52%から大きく増加しています。

・今後どのような形でお知らせするのが良いかにおける前回調査(R4)と比較結果は、以下のとおりです。

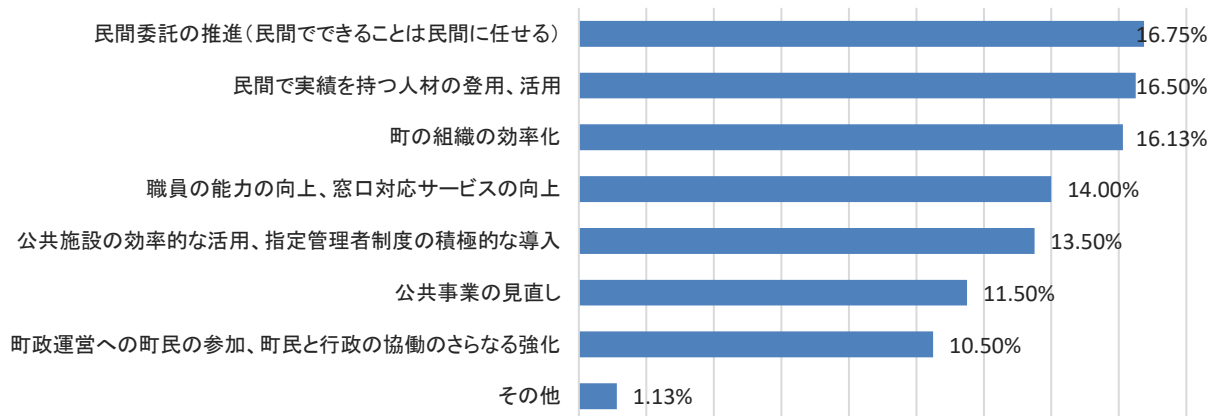
- 回覧板や各戸配布をベースに行うのがよい △18.56ポイント
- ホームページ・メール・スマホアプリ等インターネットを中心にする方向 +12.80ポイント
- 新聞やテレビ・ラジオなどの媒体を活用するのがよい +4.13ポイント

・前回調査と回答順位に変動はありませんが回答割合は増減しており、今後はよりデジタルを活用した情報発信の重要性が増加すると見込まれます。

19. 今後の町の行政運営に望むこと（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
民間委託の推進（民間でできることは民間に任せる）	134	16.75%
民間で実績を持つ人材の登用、活用	132	16.50%
町の組織の効率化	129	16.13%
職員の能力の向上、窓口対応サービスの向上	112	14.00%
公共施設の効率的な活用、指定管理者制度の積極的な導入	108	13.50%
公共事業の見直し	92	11.50%
町政運営への町民の参加、町民と行政の協働のさらなる強化	84	10.50%
その他	9	1.13%
合計	800	100.00%

その他：町議の世代交代、町議の定員削減、外部の意見の尊重、職員のやる気や活気 ほか



・ 今後の町の行政運営に望むことにおける前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。

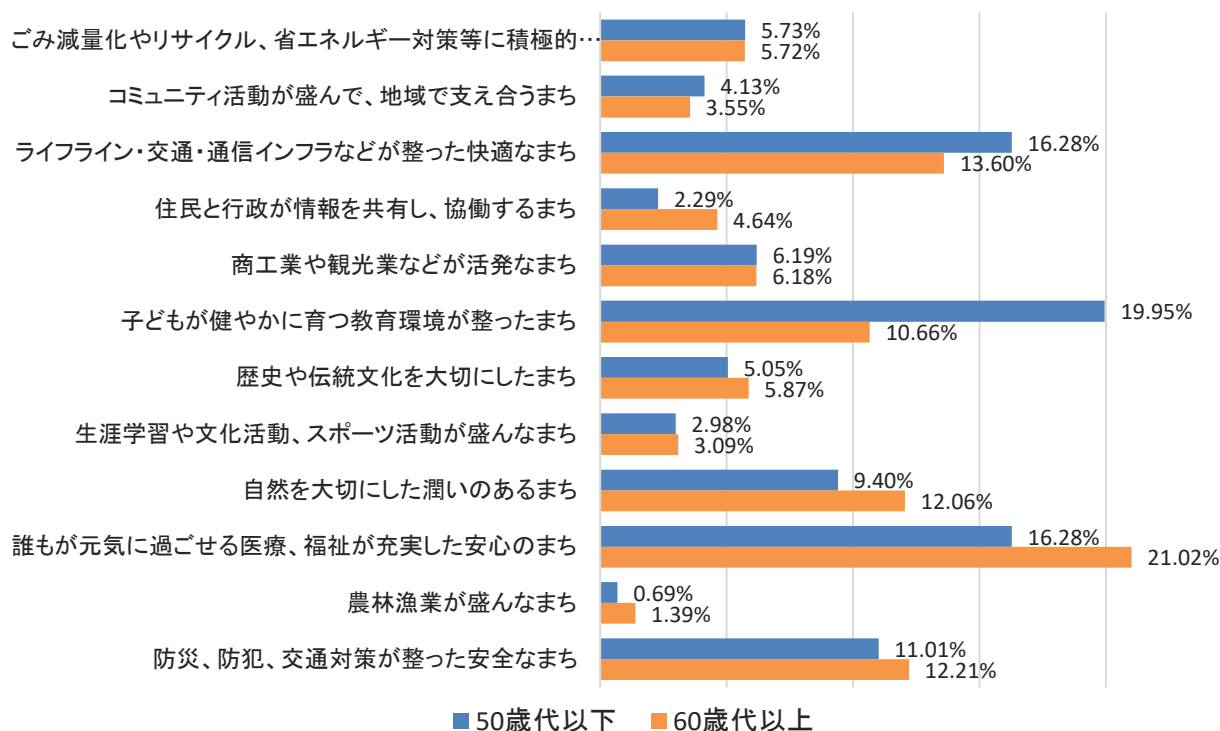
- | | | |
|-----|-----------------------------|---------|
| 1 位 | 民間委託の推進（民間でできることは民間に任せる） | （← 1 位） |
| 2 位 | 民間で実績を持つ人材の登用、活用 | （↑ 3 位） |
| 3 位 | 町の組織の効率化 | （↑ 6 位） |
| 4 位 | 職員の能力の向上、窓口対応サービスの向上 | （↓ 2 位） |
| 5 位 | 公共施設の効率的な活用、指定管理者制度の積極的な導入 | （↓ 4 位） |
| 6 位 | 公共事業の見直し | （↓ 5 位） |
| 7 位 | 町政運営への町民の参加、町民と行政の協働のさらなる強化 | （← 7 位） |

・ 「民間委託の推進」や「民間で実績を持つ人材の登用、活用」、「町の組織の効率化」が上位を占めており、行政運営の合理化、効率性の向上と専門性の活用が重視されています。

今後のまちの姿について

20. おおむね 10 年後に目指すまちの姿

回答	50 歳代以下	60 歳代以上	全体
ごみ減量化やリサイクル、省エネルギー対策等に積極的に取り組むまち	5.73%	5.72%	5.72%
コミュニティ活動が盛んで、地域で支え合うまち	4.13%	3.55%	3.79%
ライフライン・交通・通信インフラなどが整った快適なまち	16.28%	13.60%	14.68%
住民と行政が情報を共有し、協働するまち	2.29%	4.64%	3.69%
商工業や観光業などが活発なまち	6.19%	6.18%	6.19%
子どもが健やかに育つ教育環境が整ったまち	19.95%	10.66%	14.40%
歴史や伝統文化を大切にしたいまち	5.05%	5.87%	5.54%
生涯学習や文化活動、スポーツ活動が盛んなまち	2.98%	3.09%	3.05%
自然を大切にしたい潤いのあるまち	9.40%	12.06%	10.99%
誰もが元気に過ごせる医療、福祉が充実した安心のまち	16.28%	21.02%	19.11%
農林漁業が盛んなまち	0.69%	1.39%	1.11%
防災、防犯、交通対策が整った安全なまち	11.01%	12.21%	11.73%



・全体として、最も多く支持されたのは「誰もが元気に過ごせる医療、福祉が充実した安心のまち」で、19.11%の回答が寄せられました。次いで、「ライフライン・交通・通信インフラなどが整った快適なまち」(14.68%)や「子どもが健やかに育つ教育環境が整ったまち」(14.40%)が挙げられました。今後の10年間に力を入れていく分野として、「健康」「安心・安全」「子育て」が支持されています。

・年代別では、50歳代以下では「子どもが健やかに育つ教育環境が整ったまち」が最も高く評価され、次いで「ライフラインが整った快適なまち」が挙げられています。一方、60歳代以上では「誰もが元気に過ごせる医療、福祉が充実した安心のまち」が最も多く支持され、「防災、防犯、交通対策が整った安全なまち」や「自然を大切にしたい潤いのあるまち」も高い評価を受けています。

21. 理想の下諏訪町のイメージ

(A)	Aに近い	どちらかといえばAに近い	どちらかといえばBに近い	Bに近い	(B)
様々な分野に均等に力を入れていく町	11.80%	28.65%	39.04%	20.51%	地域の特性を考慮した特定の分野を伸ばしていく町
町民と行政がともにまちづくりを担う協働の町	29.21%	50.56%	17.13%	4.78%	行政が主体となってまちづくりを進める町
自然豊かな町	52.53%	41.01%	7.02%	3.37%	都会的な町
伝統や歴史を大切に、今の良さを守っていく町	30.90%	42.42%	20.79%	9.55%	新しいことを積極的に取り入れる町
地域コミュニティ活動が活発で助け合える町	15.73%	33.43%	37.08%	16.29%	ゆるやかに地域とつながる町
経済と産業を発展させ、活気と賑わいのある町	19.38%	37.36%	30.06%	16.57%	お金で買えない心豊かな暮らしを大切にする町

- ・理想の下諏訪町のイメージとして、回答者が7割を超える強い傾向が出ている項目は、
 - 「自然豊かな町」93.54%
 - 「町と行政がともにまちづくりを担う協働の町」79.77%
 - 「伝統や歴史を大切に、今の良さを守っていく町」73.32%
 であり、環境保全への関心の高さ、住民参加型のまちづくりへの期待と、自然や歴史など町がもつ資源を尊重する意識が伺えます。
- ・「様々な分野に均等に力を入れていく町」よりも「地域の特性を考慮した特定の分野を伸ばしていく町」を選ぶ傾向が見られ、重点的な施策に対する支持が見られます。
- ・「地域コミュニティとのつながり」、「活気のあるまちづくりにおける経済と心の豊かさ」においては、回答が分散しました。これらについては、ともにバランスが求められていると考えられます。

22. 下諏訪町の今後のまちづくりに対するご意見やご要望（自由記載）（208 件）

・商業施設（23 件）

「買い物が不便」、「大型店が必要」、「店までのアクセスが大変」、「専門店がほしい」といった買い物に関する利便性向上に関する意見が多数ありました。

・観光（23 件）

「自然や温泉など、町の観光資源をもっと活用してほしい」、「宿場町の雰囲気を守りながら観光開発を進めてほしい」、「集客できるイベントを検討してほしい」、「観光とともに商工業にも力を入れて町全体の活性化を図ってほしい」といった、まちの魅力を向上させるための施策が求められています。

・子育て支援、若者支援、教育体制（19 件）

「病児保育施設を作してほしい」、「子どもが安全に遊べる場所を整備してほしい」、「共働き、子育て世代への支援が必要」、「子どもを守るまちにしたい」などの意見が多数寄せられ、また「子育て支援を手厚くすることで、移住者を呼び込む」という提案等がありました。

・交通（18 件）

「道路や歩道の整備を進めてほしい」、「電車やバスなど交通の便をもっと良くしてほしい」、「渋滞緩和に努めてほしい」といった交通インフラへの期待が見られ、住民の移動の利便性を高める施策が求められています。

・行政サービス（16 件）

「役場の対応をもっと丁寧にしてほしい」、「公共施設を様々な層が利用できるよう検討してほしい」、「防災行政無線を聞き取りやすくしてほしい」、「下諏訪に関する気象や災害情報の発信に努めてほしい」など、行政サービスの質の向上を求める声が寄せられています。

・高齢者福祉（14 件）

「福祉タクシー等の移動助成は外出支援につながっている」、「安価な住宅、老人ホームをもっと提供してほしい」、「高齢者の働ける場所を増やしてほしい」、「高齢者のグループ活動が増えると良い」との意見が挙がっています。高齢化社会への対応が重要視されています。

・環境問題（11 件）

「諏訪湖の浄化」、「公園・道路の雑草や植生の手入れ」、「街路樹や緑化の充実」を求める声がありました。

・人口減少対策（11 件）

「まちの高齢化、少子化が避けられない中、若い世代の移住が必要」、「若い世代の U ターン施策が必要」、「人口の維持と定住化のため住宅地を整理し移住しやすい環境を作してほしい」、「人口増のため企業を誘致した方が良い」などの意見が寄せられました。

・町内会や地域コミュニティ（10 件）

「町内会の行事や役員の負担が大きい」、「配布物が多く対応が大変なためインターネットやメールを活用して情報発信してほしい」、「いざというときに、隣近所の助け合いが大切」などの意見がありました。

・その他（63 件）

その他の意見には、多岐にわたるまちづくり全体への意見、合併問題、就労環境、防災など、具体的な要望が寄せられています。

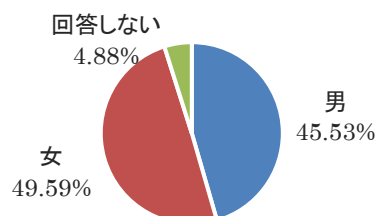
この結果から、観光や商業施設によるまちの活性化、子育て支援、高齢者福祉、インフラ整備など住民生活を豊かにする施策への期待と、人口減少社会への懸念が全体を通じて見られました。

調査結果 < ② 小学校 6 学年 >

回答者属性

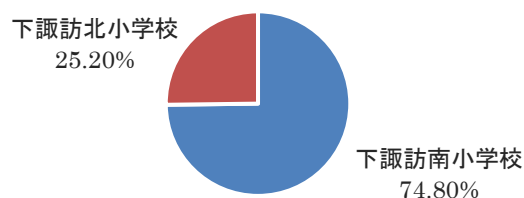
1. 性別

回答	件数(件)	割合(%)
男	56	45.53%
女	61	49.59%
回答しない	6	4.88%
合計	123	100.00%



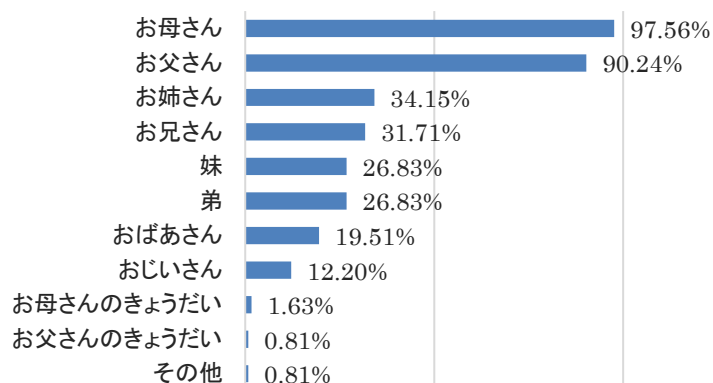
2. 通っている学校

回答	件数(件)	割合(%)
下諏訪南小学校	92	74.80%
下諏訪北小学校	31	25.20%
合計	123	100.00%



3. 一緒に住んでいる家族

	件数(件)	割合(%)
お母さん	120	97.56%
お父さん	111	90.24%
お姉さん	42	34.15%
お兄さん	39	31.71%
妹	33	26.83%
弟	33	26.83%
おばあさん	24	19.51%
おじいさん	15	12.20%
お母さんのきょうだい	2	1.63%
お父さんのきょうだい	1	0.81%
その他	1	0.81%
合計	421	-

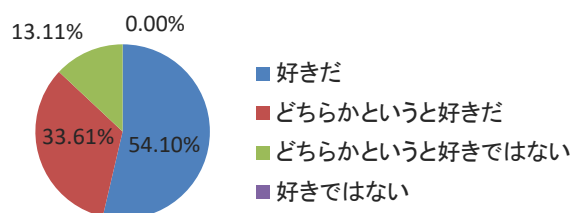


- ・ 回答者の性別は男子 45.53%、女子 49.59%でやや女子が多く、回答しないが 4.88%（前回調査比 +2.81 ポイント）です。
- ・ 通っている学校における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。
南小学校 △1.06 ポイント 北小学校 +1.06 ポイント
- ・ 3 世代以上、または父母のきょうだいなど同居しているなどの「拡大家族」の割合は、21.95%（27 人/123 人 前回比△12.53 ポイント）で約 8 割が核家族という構成になっています。
- ・ きょうだいがいる児童の割合は、89.43%（110 人/123 人 前回比△1.60 ポイント）で約 9 割の結果となりました。

下諏訪町への意識について

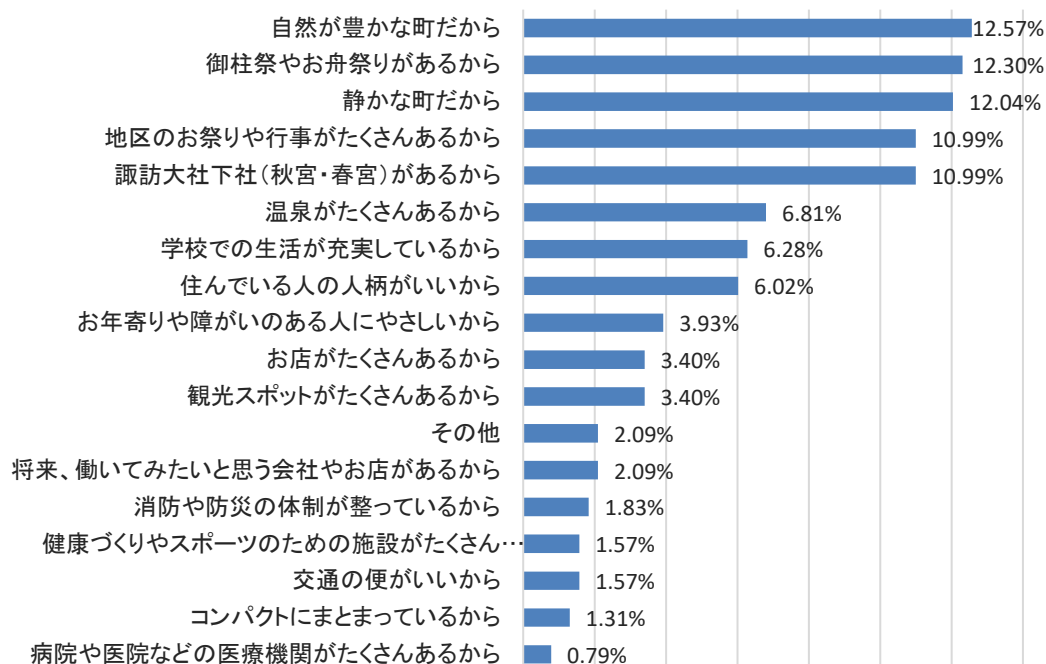
4. 下諏訪町のことが好きか

回答	件数(件)	割合(%)
好きだ	66	54.10%
どちらかという好きだ	41	33.61%
どちらかという好きではない	16	13.11%
好きではない	0	0.00%
合計	123	100.00%



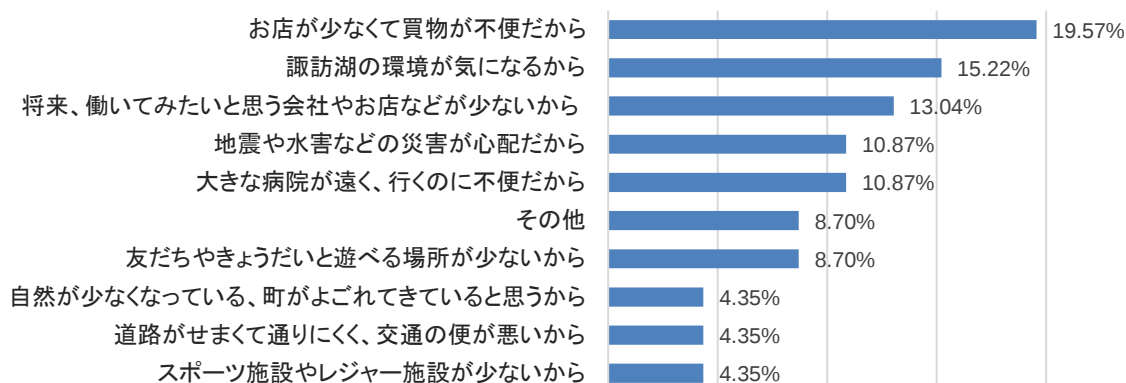
4-1. 設問4で下諏訪町が好きだと答えた方の理由（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
自然が豊かな町だから	48	12.57%
御柱祭やお舟祭りがあるから	47	12.30%
静かな町だから	46	12.04%
地区のお祭りや行事がたくさんあるから	42	10.99%
諏訪大社下社（秋宮・春宮）があるから	42	10.99%
温泉がたくさんあるから	26	6.81%
学校での生活が充実しているから	24	6.28%
住んでいる人の人柄がいいから	23	6.02%
お年寄りや障がいのある人にやさしいから	15	3.93%
お店がたくさんあるから	13	3.40%
観光スポットがたくさんあるから	13	3.40%
その他	8	2.09%
将来、働いてみたいと思う会社やお店があるから	8	2.09%
消防や防災の体制が整っているから	7	1.83%
健康づくりやスポーツのための施設がたくさんあるから	6	1.57%
交通の便がいいから	6	1.57%
コンパクトにまとまっているから	5	1.31%
病院や医院などの医療機関がたくさんあるから	3	0.79%
合計	382	100.00%



4-2. 設問4で下諏訪町が好きではないと答えた方の理由（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
お店が少なくて買物が不便だから	9	19.57%
諏訪湖の環境が気になるから	7	15.22%
将来、働いてみたいと思う会社やお店などが少ないから	6	13.04%
地震や水害などの災害が心配だから	5	10.87%
大きな病院が遠く、行くのに不便だから	5	10.87%
その他	4	8.70%
友だちやきょうだいと遊べる場所が少ないから	4	8.70%
自然が少なくなっている、町がよごれてきていると思うから	2	4.35%
道路がせまくて通りにくく、交通の便が悪いから	2	4.35%
スポーツ施設やレジャー施設が少ないから	2	4.35%
合計	46	100.02%

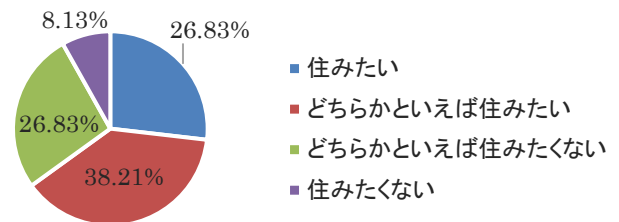


- ・町への愛着度における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。
「好きだ」、「どちらかという好きだ」 87.71%（前回比△5.40ポイント）
「好きではない」、「どちらかという好きではない」 13.11%（前回比+6.21ポイント）
- ・「好きな理由」における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。
1位 自然が豊かな町だから（←1位）
2位 御柱祭やお舟祭りがあるから（↑3位）
3位 静かな町だから（↓2位）
4位 地区のお祭りや行事がたくさんあるから（↑5位）
5位 諏訪大社下社（秋宮・春宮）があるから（↓4位）
・上位5位は、前回調査と同じ項目が選ばれています。15歳以上を対象とした調査の「13-1 住みやすいと思う理由」でも上位に挙げられた「自然」「歴史・文化の豊かさ」「静けさ」が小学生の回答でも上位となり、幅広い世代における町への愛着形成の要因と考えられます。
- ・「好きではない理由」における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。
1位 お店が少なくて買物が不便だから（←1位）
2位 諏訪湖の環境が気になるから（↑4位）
3位 将来、働いてみたいと思う会社やお店などが少ないから（←3位）
4位 地震や水害などの災害が心配だから（↑9位）
5位 大きな病院が遠く、行くのに不便だから（↑6位）
・「買い物の不便さ」「諏訪湖の環境」などの課題が挙げられています。前回調査と比較して、地震や水害などの災害への懸念が大きくなっています。

下諏訪町のまちづくりについて

5. 将来、下諏訪町に住みたいと思うか

回答	件数(件)	割合(%)
住みたい	33	26.83%
どちらかといえば住みたい	47	38.21%
どちらかといえば住みたくない	33	26.83%
住みたくない	10	8.13%
合計	123	100.00%



・ 前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。

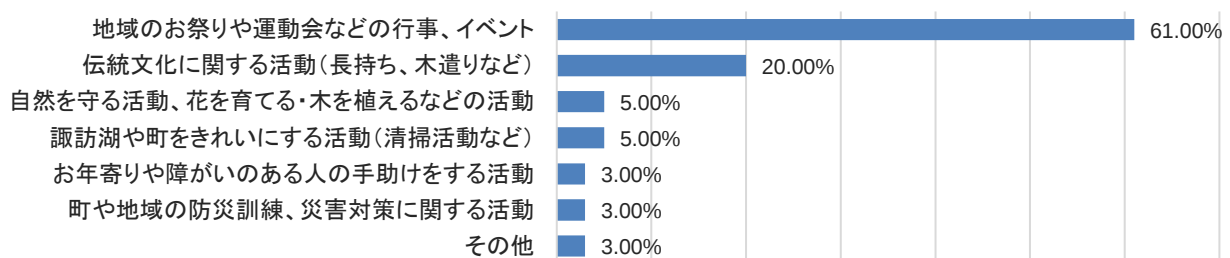
「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」 65.04% (前回比△6.00 ポイント)

「住みたくない」、「どちらかといえば住みたくない」 34.96% (前回比+5.99 ポイント)

・ 項番4で、「下諏訪町が好き」、「どちらかといえば好き」と回答した児童で、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した割合は、67.29% (72人/107人 前回比△6.78 ポイント) となっており、7割程度が愛着度と連動しているとみられます。

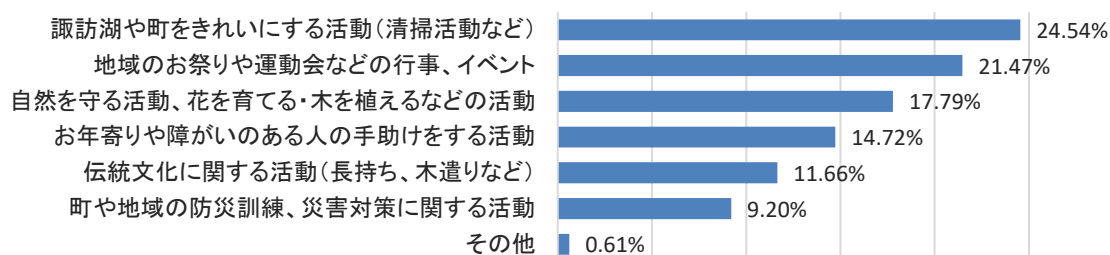
6. 現在参加している活動 (※複数回答可)

回答	件数(件)	割合(%)
地域のお祭りや運動会などの行事、イベント	61	61.00%
伝統文化に関する活動 (長持ち、木遣りなど)	20	20.00%
自然を守る活動、花を育てる・木を植えるなどの活動	5	5.00%
諏訪湖や町をきれいにする活動 (清掃活動など)	5	5.00%
お年寄りや障がいのある人の手助けをする活動	3	3.00%
町や地域の防災訓練、災害対策に関する活動	3	3.00%
その他	3	3.00%
合計	100	100.00%



7. 今後参加してみたい活動 (※複数回答可)

回答	件数(件)	割合(%)
諏訪湖や町をきれいにする活動 (清掃活動など)	40	24.54%
地域のお祭りや運動会などの行事、イベント	35	21.47%
自然を守る活動、花を育てる・木を植えるなどの活動	29	17.79%
お年寄りや障がいのある人の手助けをする活動	24	14.72%
伝統文化に関する活動 (長持ち、木遣りなど)	19	11.66%
町や地域の防災訓練、災害対策に関する活動	15	9.20%
その他	1	0.61%
合計	163	100.00%



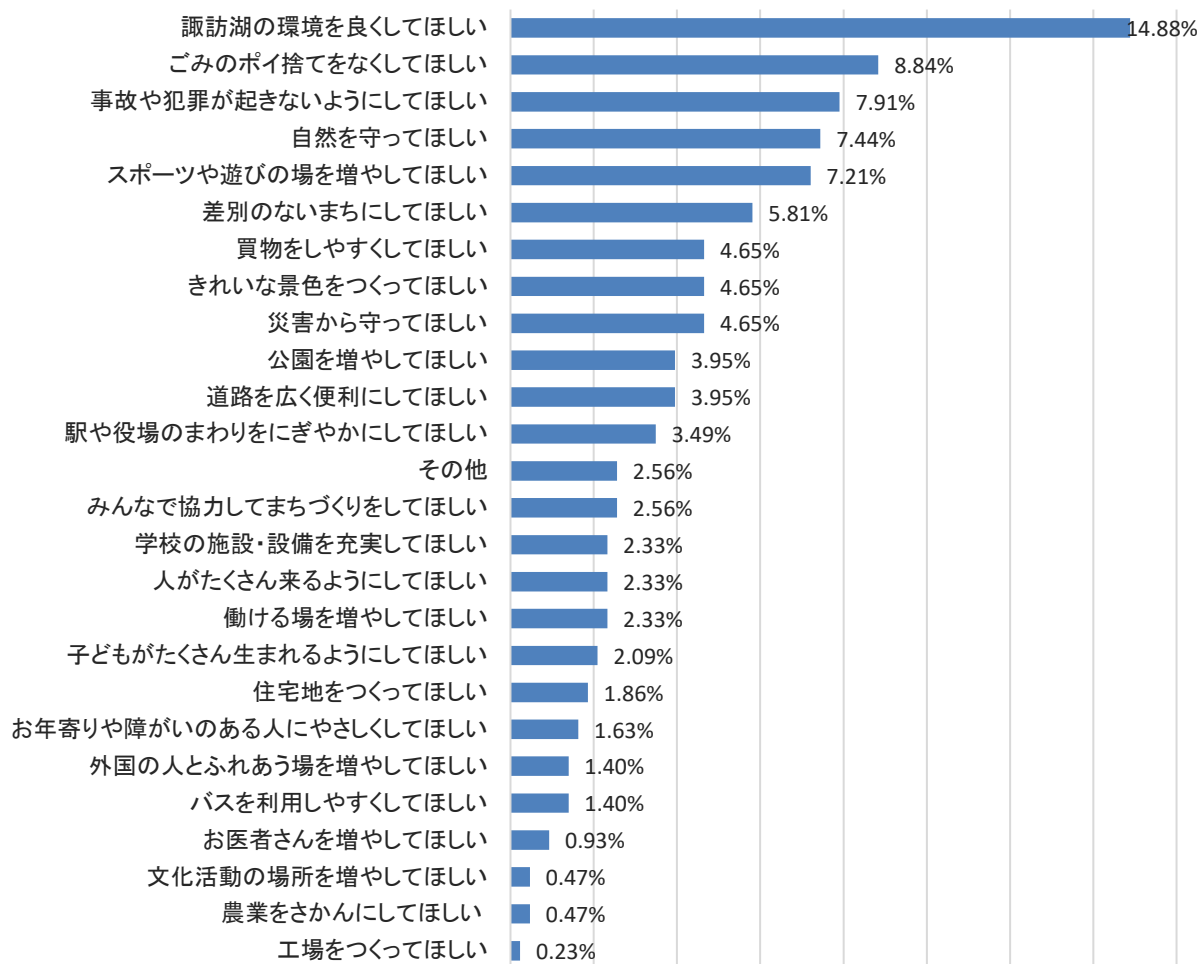
・これまでの参加率に対し、今後の参加意欲が高い項目として以下が挙げられ、自然環境への関心の高さが伺えます。これらは地域活動への参加促進のための重要な視点とみることができます。

- ・諏訪湖や町をきれいにする活動(清掃活動など)
- ・自然を守る活動、花を育てる・木を植えるなどの活動

8. これからの下諏訪町のどんなところに力を入れてほしいと思うか（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
諏訪湖の環境を良くしてほしい	64	14.88%
ごみのポイ捨てをなくしてほしい	38	8.84%
事故や犯罪が起きないようにしてほしい	34	7.91%
自然を守ってほしい	32	7.44%
スポーツや遊びの場を増やしてほしい	31	7.21%
差別のないまちにしてほしい	25	5.81%
買物をしやすくしてほしい	20	4.65%
きれいな景色をつくってほしい	20	4.65%
災害から守ってほしい	20	4.65%
公園を増やしてほしい	17	3.95%
道路を広く便利にしてほしい	17	3.95%
駅や役場のまわりをにぎやかにしてほしい	15	3.49%
その他	11	2.56%
みんなで協力してまちづくりをしてほしい	11	2.56%
学校の施設・設備を充実してほしい	10	2.33%
人がたくさん来るようにしてほしい	10	2.33%
働ける場を増やしてほしい	10	2.33%
子どもがたくさん生まれるようにしてほしい	9	2.09%
住宅地をつくってほしい	8	1.86%
お年寄りや障がいのある人にやさしくしてほしい	7	1.63%
外国の人とふれあう場を増やしてほしい	6	1.40%
バスを利用しやすくしてほしい	6	1.40%
お医者さんを増やしてほしい	4	0.93%
文化活動の場所を増やしてほしい	2	0.47%
農業をさかんにしてほしい	2	0.47%
工場をつくってほしい	1	0.23%
合計	430	100.00%

・その他の主な内容： お店、飲食店を増やしてほしい、諏訪湖の水草をとってほしい



・ 前回調査 (R4) との比較結果は、以下のとおりです。

- | | | |
|-----|--------------------|---------|
| 1 位 | 諏訪湖の環境を良くしてほしい | (← 1 位) |
| 2 位 | ごみのポイ捨てをなくしてほしい | (← 2 位) |
| 3 位 | 事故や犯罪が起きないようにしてほしい | (↑ 4 位) |
| 4 位 | 自然を守ってほしい | (↓ 3 位) |
| 5 位 | スポーツや遊びの場を増やしてほしい | (↑ 6 位) |

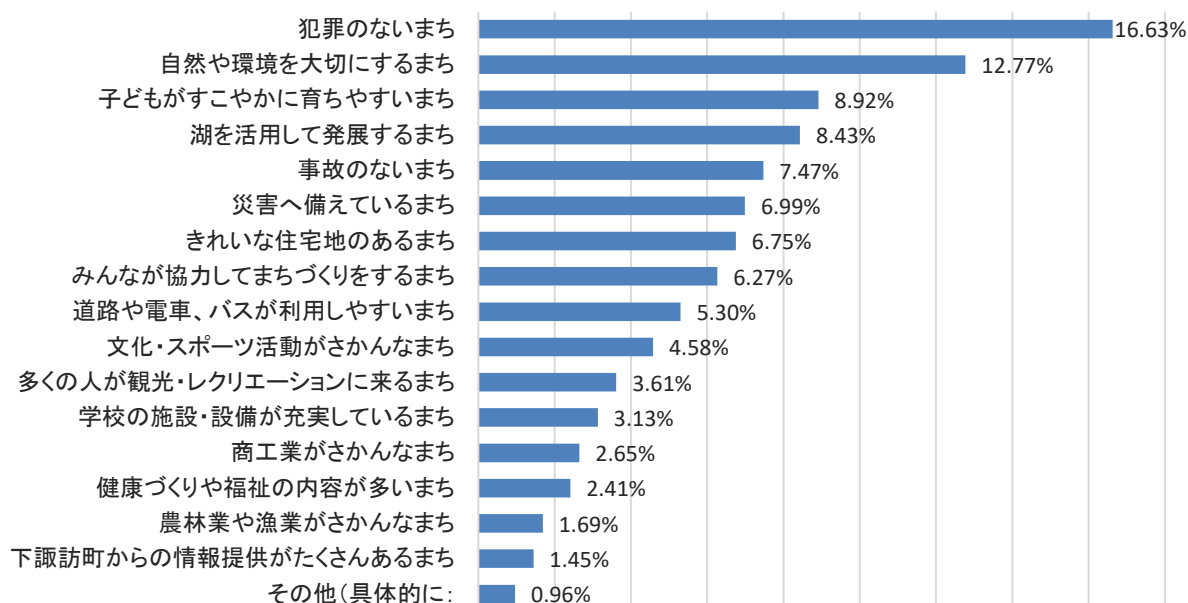
・ 児童たちは自然や環境保全に対して特に強い関心を持っており、これらの分野への取り組みが町にとって重要だと考えています。

・ 日常生活をより快適にするために、事故や犯罪が起きない安全な町であること、スポーツや遊びの場があることも期待されています。

今後のまちの姿について

9. 10年後の下諏訪町がどんなまちになったら良いと思うか（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
犯罪のないまち	69	16.63%
自然や環境を大切にするまち	53	12.77%
子どもがすこやかに育ちやすいまち	37	8.92%
湖を活用して発展するまち	35	8.43%
事故のないまち	31	7.47%
災害へ備えているまち	29	6.99%
きれいな住宅地のあるまち	28	6.75%
みんなが協力してまちづくりをするまち	26	6.27%
道路や電車、バスが利用しやすいまち	22	5.30%
文化・スポーツ活動がさかんなまち	19	4.58%
多くの人が観光・レクリエーションに来るまち	15	3.61%
学校の施設・設備が充実しているまち	13	3.13%
商工業がさかんなまち	11	2.65%
健康づくりや福祉の内容が多いまち	10	2.41%
農林業や漁業がさかんなまち	7	1.69%
下諏訪町からの情報提供がたくさんあるまち	6	1.45%
その他	4	0.96%
合計	415	100.00%



- ・「犯罪のないまち」(16.63%)、「子どもがすこやかに育ちやすいまち」(8.92%)が上位に挙げられ、子どもが健やかに育つ、安全で安心して暮らせる地域を望む声が多くなっています。
- ・項番4-1の「下諏訪町が好きな理由」、項番7の「今後参加してみたい活動」、項番8の「町が注力すべき分野」、項番9の「10年後の下諏訪町」いずれにおいても、「自然や環境」が上位に挙げられています。環境保全への関心が高く、「自然」「諏訪湖」など下諏訪町の豊かな自然を生かした発展への期待があります。
- ・「事故のないまち」(7.47%)や「災害へ備えているまち」(6.99%)といった安全対策や災害対策へのニーズも高くなっています。
- ・「みんなが協力してまちづくりをするまち」(6.27%)や「道路や電車、バスが利用しやすいまち」(5.30%)などから、住民参加や利便性向上の重要性も求められています。

まちづくりに対しての意見、提案など

10. 自由記載（106 件）

・ 自然環境保全、清掃活動、ごみ等について（30 件）

「自然を大切にしてほしい」、「諏訪湖をきれいにしてほしい」、「ポイ捨てをしないでほしい」、「清掃活動を増やしたらいい」、「自然を活かしたまちづくりをしてほしい」等の意見が最多となりました。

・ 商業施設、商店、買い物環境について（25 件）

「お店を増やしてほしい」、「ショッピングモールがほしい」という意見が多数みられました。

・ 道路環境整備（車道・歩道・橋梁）、交通安全対策について（13 件）

「狭くて通りづらい道が多いから広げてほしい」、「細い道が多くて車とのすれ違いが怖い」、「危ないところには信号をつけてほしい」、「歩道橋が古い」といった通学路の安全性等を指摘する意見が寄せられました。

・ 防災、防犯、安全な生活について（6 件）

「不審者や事故、犯罪を防いでほしい」、「大雨の時の浸水対策をしてほしい」といった安全な生活に関する意見が寄せられました。

・ 運動施設、公園、遊び場の整備等について（6 件）

「大きな公園を増やしてほしい」、「スポーツができる場所をもっと増やしてほしい」という意見が寄せられました。

・ その他（26 件）

その他の主な意見

「お年寄りも安心して暮らせる環境を整備してほしい。」

「ひとり親支援を増やしてほしい」

「駅を大きくきれいに整備してほしい」

「働きやすい環境にしてほしい」

「小学生から大人までボランティアができる活動をもっと行ってほしい」

「万治くん、やしまるを使って、町の魅力を広めてほしい」

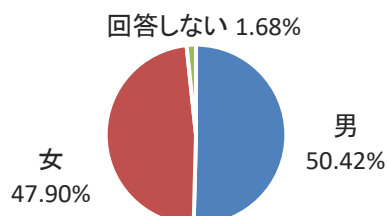
「下諏訪を少し都会にしてほしい」

調査結果 < ③ 中学校 3 学年 >

回答者属性

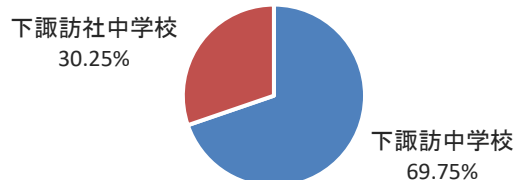
1. 性別

回答	件数(件)	割合(%)
男	60	50.42%
女	57	47.90%
回答しない	2	1.68%
合計	119	100.00%



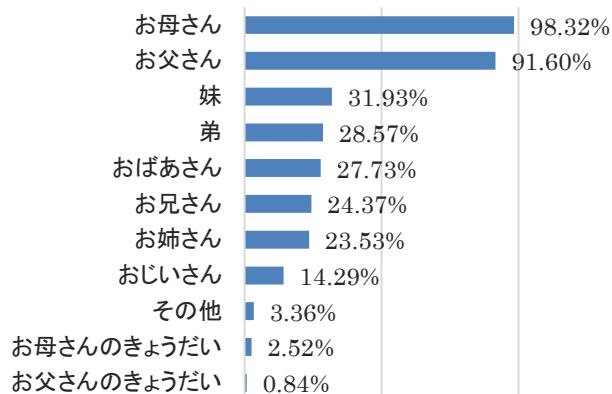
2. 通っている学校

回答	件数(件)	割合(%)
下諏訪中学校	83	69.75%
下諏訪社中学校	36	30.25%
合計	119	100.00%



3. 一緒に住んでいる家族

回答	件数(件)	割合(%)
お母さん	117	98.32%
お父さん	103	91.60%
妹	38	31.93%
弟	34	28.57%
おばあさん	33	27.73%
お兄さん	29	24.37%
お姉さん	28	23.53%
おじいさん	17	14.29%
その他	4	3.36%
お母さんのきょうだい	3	2.52%
お父さんのきょうだい	1	0.84%
合計	407	-

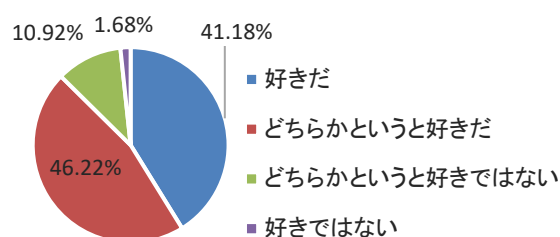


- ・ 回答者性別は男子 50.42%、女子 47.90%でやや男子が多く、回答しないが 1.68%（前回比+0.94 ポイント）です。
- ・ 通っている学校における前回調査(R4)と比較した回答の割合は、以下のとおりです。
下諏訪中学校 △3.58 ポイント 下諏訪社中学校 +3.58 ポイント
- ・ 3 世代以上、または父母のきょうだいなど同居等の「拡大家族」の割合は、30.25%（36 人/119 人 前回比△0.12 ポイント）で約 7 割が核家族という構成になっています。
- ・ 「きょうだい」がいる児童の割合は、87.39%（104 人/119 人 前回比+8.13 ポイント）で、約 9 割となりました。

下諏訪町への意識について

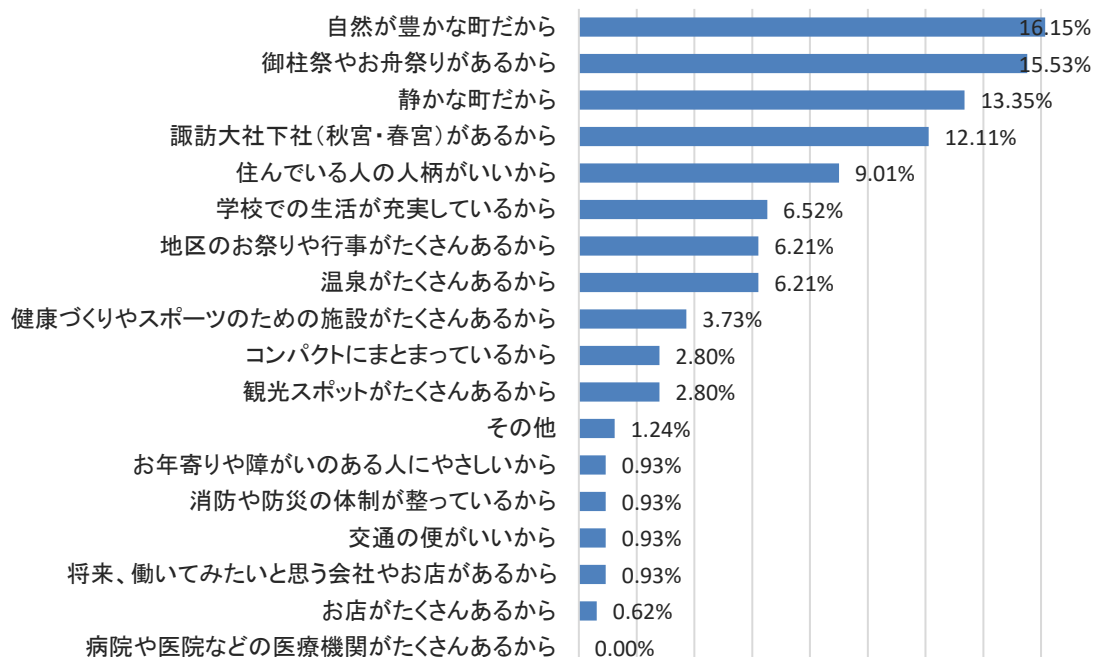
4. 下諏訪町のことが好きか

回答	件数(件)	割合(%)
好きだ	49	41.18%
どちらかという好きだ	55	46.22%
どちらかという好きではない	13	10.92%
好きではない	2	1.68%
合計	119	100.00%



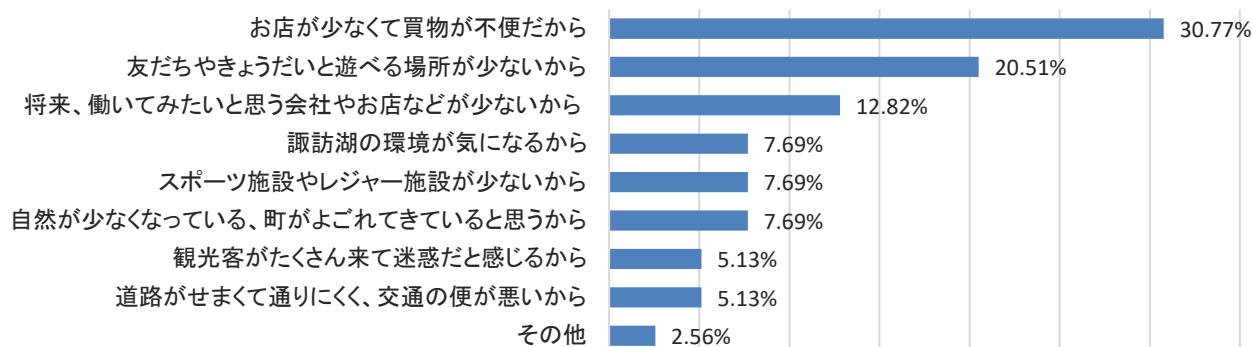
4-1. 設問4で下諏訪町が好きだと答えた方の理由（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
自然が豊かな町だから	52	16.15%
御柱祭やお舟祭りがあるから	50	15.53%
静かな町だから	43	13.35%
諏訪大社下社(秋宮・春宮)があるから	39	12.11%
住んでいる人の人柄がいいから	29	9.01%
学校での生活が充実しているから	21	6.52%
地区のお祭りや行事がたくさんあるから	20	6.21%
温泉がたくさんあるから	20	6.21%
健康づくりやスポーツのための施設がたくさんあるから	12	3.73%
コンパクトにまとまっているから	9	2.80%
観光スポットがたくさんあるから	9	2.80%
その他	4	1.24%
お年寄りや障がいのある人にやさしいから	3	0.93%
消防や防災の体制が整っているから	3	0.93%
交通の便がいいから	3	0.93%
将来、働いてみたいと思う会社やお店があるから	3	0.93%
お店がたくさんあるから	2	0.62%
病院や医院などの医療機関がたくさんあるから	0	0.00%
合計	322	100.00%



4-2. 設問4で下諏訪町が好きではないと答えた方の理由（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
お店が少なくて買物が不便だから	12	30.77%
友だちやきょうだいと遊べる場所が少ないから	8	20.51%
将来、働いてみたいと思う会社やお店などが少ないから	5	12.82%
諏訪湖の環境が気になるから	3	7.69%
スポーツ施設やレジャー施設が少ないから	3	7.69%
自然が少なくなっている、町がよごれてきていると思うから	3	7.69%
観光客がたくさん来て迷惑だと感じるから	2	5.13%
道路がせまくて通りにくく、交通の便が悪いから	2	5.13%
その他	1	2.56%
合計	39	100.00%

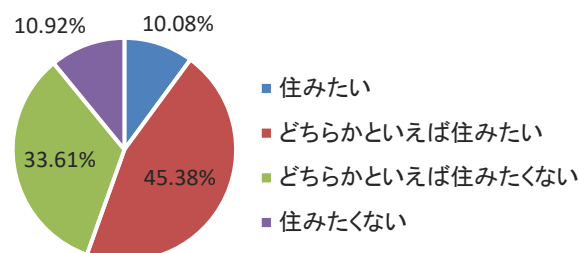


- ・町への愛着度における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。
 - 「好きだ」、「どちらかという好きだ」 87.4%（前回比△0.75ポイント）
 - 「好きではない」、「どちらかという好きではない」 12.6%（前回比+0.75ポイント）
- ・「好きな理由」における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。
 - 1位 自然が豊かな町だから（←1位）
 - 2位 御柱祭やお舟祭りがあるから（↑3位）
 - 3位 静かな町だから（↓2位）
 - 4位 諏訪大社下社（秋宮・春宮）があるから（↑8位）
 - 5位 住んでいる人の人柄がいいから（↓4位）
- ・上位5位のうち、4項目は前回調査と同じ項目が選ばれています。15歳以上を対象とした調査の「13-1 住みやすいと思う理由」でも上位に挙げられた「自然」「歴史・文化の豊かさ」「静けさ」が小学生、中学生の回答でも上位となり、幅広い世代における町への愛着形成の要因と考えられます。
- ・「好きではない理由」における前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。
 - 1位 お店が少なくて買物が不便だから（←1位）
 - 2位 友だちやきょうだいと遊べる場所が少ないから（↑4位）
 - 3位 将来、働いてみたいと思う会社やお店などが少ないから（←3位）
 - 4位 諏訪湖の環境が気になるから（↑6位）
 - 5位 スポーツ施設やレジャー施設が少ないから（←5位）
- ・「買い物の不便さ」「過ごす場所の不足」が指摘されています。また「将来、働いてみたいと思う会社やお店などが少ないから」は小学生、中学生の回答でともに上位に入っており、就職先に対する不満が挙げられています。

下諏訪町のまちづくりについて

5. 将来、下諏訪町に住みたいと思うか

回答	件数(件)	割合(%)
住みたい	12	10.08%
どちらかといえば住みたい	54	45.38%
どちらかといえば住みたくない	40	33.61%
住みたくない	13	10.92%
合計	119	100.00%



・ 前回調査(R4)との比較結果は、以下のとおりです。

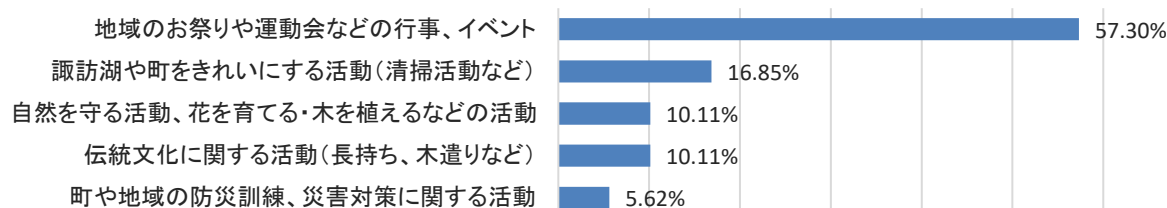
「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」 55.46% (前回比+1.38 ポイント)

「住みたくない」、「どちらかといえば住みたくない」 44.53% (前回比△1.39 ポイント)

・ 項番4で「好き」、「どちらかといえば好き」と回答した生徒で、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した割合は、62.50% (65人/104人 前回比+3.68ポイント) となっており、6割程度が愛着度と連動しているとみられます。

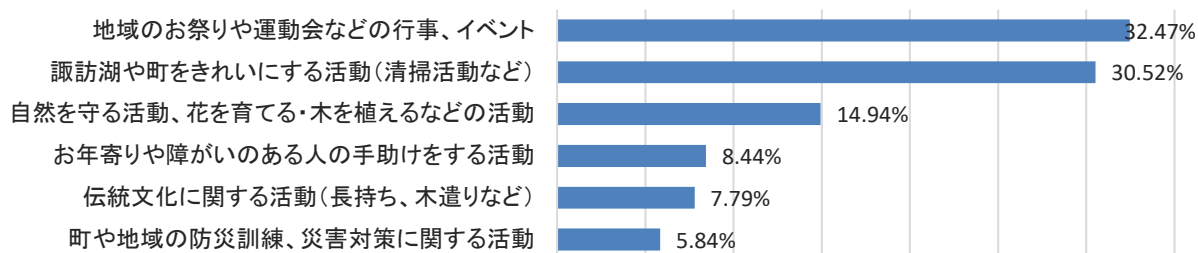
6. 現在参加している活動 (※複数回答可)

回答	件数(件)	割合(%)
地域のお祭りや運動会などの行事、イベント	51	57.30%
諏訪湖や町をきれいにする活動(清掃活動など)	15	16.85%
自然を守る活動、花を育てる・木を植えるなどの活動	9	10.11%
伝統文化に関する活動(長持ち、木遣りなど)	9	10.11%
町や地域の防災訓練、災害対策に関する活動	5	5.62%
合計	89	100.00%



7. 今後参加してみたい活動 (※複数回答可)

回答	件数(件)	割合(%)
地域のお祭りや運動会などの行事、イベント	50	32.47%
諏訪湖や町をきれいにする活動(清掃活動など)	47	30.52%
自然を守る活動、花を育てる・木を植えるなどの活動	23	14.94%
お年寄りや障がいのある人の手助けをする活動	13	8.44%
伝統文化に関する活動(長持ち、木遣りなど)	12	7.79%
町や地域の防災訓練、災害対策に関する活動	9	5.84%
合計	154	100.00%

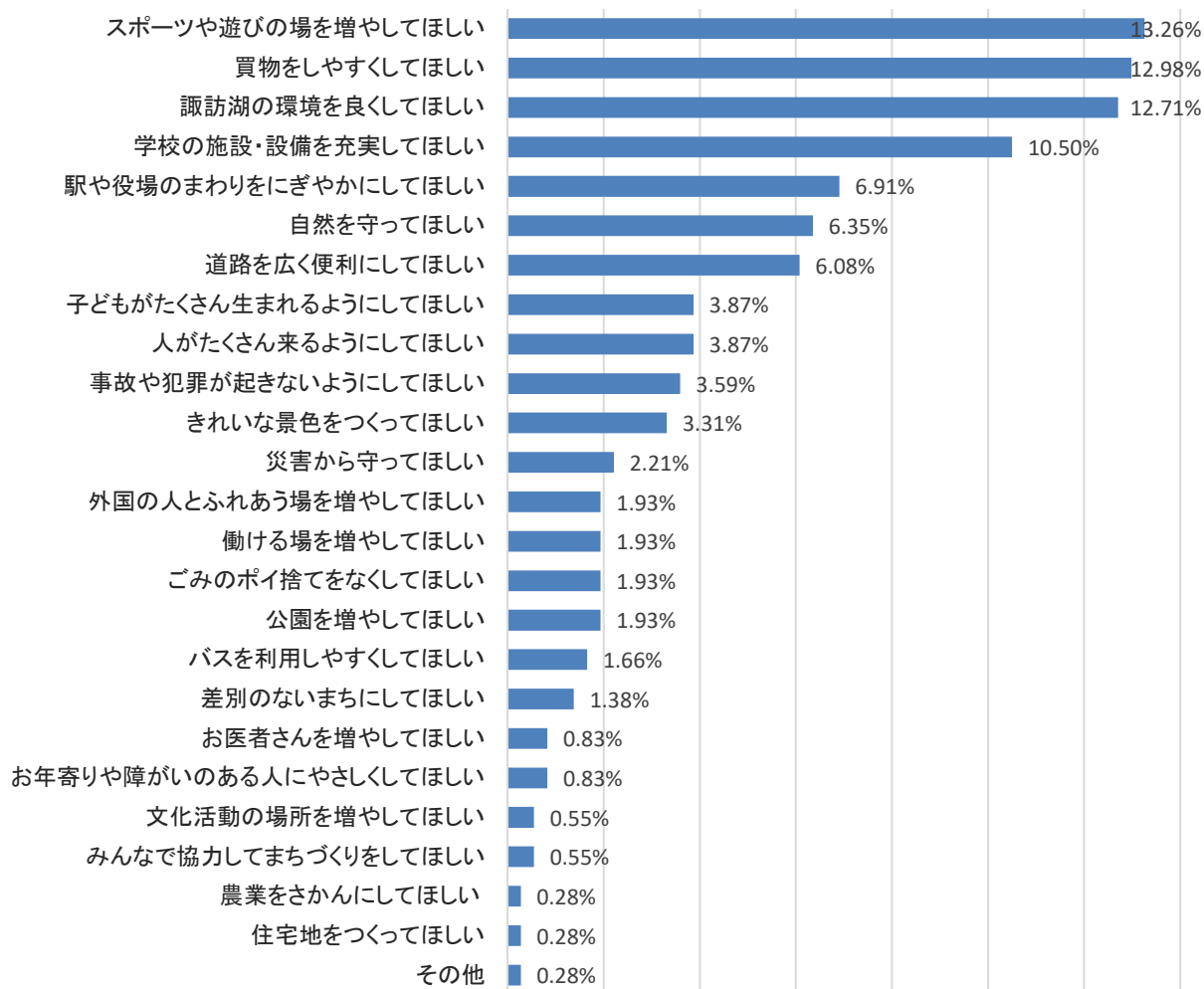


・現在の参加率に対し、今後の参加意欲が高い項目として以下が挙げられ、小学生の回答と同様に環境保全への関心が高いことを示しています。

- ・諏訪湖や町をきれいにする活動（清掃活動など）
- ・お年寄りや障がいのある人の手助けをする活動

8. これからの下諏訪町のどんなところに力を入れてほしいと思うか（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
スポーツや遊びの場を増やしてほしい	48	13.26%
買い物をしやすくしてほしい	47	12.98%
諏訪湖の環境を良くしてほしい	46	12.71%
学校の施設・設備を充実してほしい	38	10.50%
駅や役場のまわりをにぎやかにしてほしい	25	6.91%
自然を守ってほしい	23	6.35%
道路を広く便利にしてほしい	22	6.08%
子どもがたくさん生まれるようにしてほしい	14	3.87%
人がたくさん来るようにしてほしい	14	3.87%
事故や犯罪が起きないようにしてほしい	13	3.59%
きれいな景色をつくってほしい	12	3.31%
災害から守ってほしい	8	2.21%
外国の人とふれあう場を増やしてほしい	7	1.93%
働ける場を増やしてほしい	7	1.93%
ごみのポイ捨てをなくしてほしい	7	1.93%
公園を増やしてほしい	7	1.93%
バスを利用しやすくしてほしい	6	1.66%
差別のないまちにしてほしい	5	1.38%
お医者さんを増やしてほしい	3	0.83%
お年寄りや障がいのある人にやさしくしてほしい	3	0.83%
文化活動の場所を増やしてほしい	2	0.55%
みんなで協力してまちづくりをしてほしい	2	0.55%
農業をさかんにしてほしい	1	0.28%
住宅地をつくってほしい	1	0.28%
その他	1	0.28%
合計	362	100%



・ 前回調査 (R4) との比較結果は、以下のとおりです。

- 1 位 スポーツや遊びの場を増やしてほしい (↑ 3 位)
- 2 位 買い物をしやすくしてほしい (← 2 位)
- 3 位 諏訪湖の環境を良くしてほしい (↓ 1 位)
- 4 位 学校の施設・設備を充実してほしい (↑ 7 位)
- 5 位 駅や役場のまわりをにぎやかにしてほしい (↑ 6 位)

・ 前回調査と同じ項目が 1 ～ 3 位を占め、「スポーツや遊びの場・買物環境・諏訪湖の環境」については引き続き要望が多い項目です。

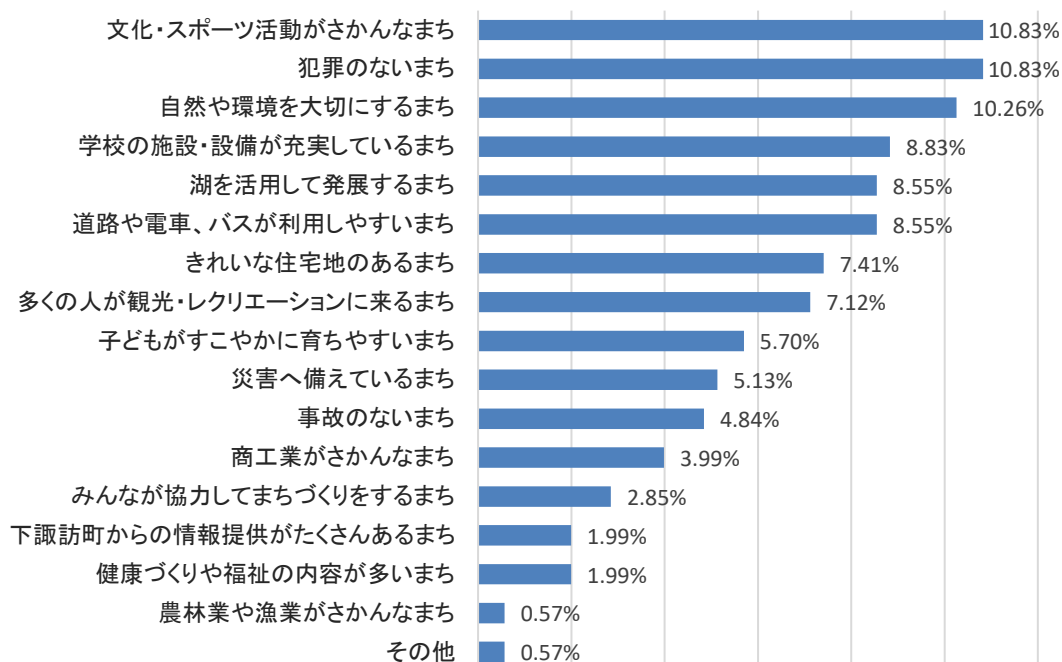
・ 「学校の施設・設備を充実してほしい」や「駅や役場のまわりのにぎやかにしてほしい」と回答した割合が前回調査 (R4) と比較して増加しました。

・ 「自然を守ってほしい」や「道路を広く便利にほしい」といった意見が、6 位・7 位と続いており、環境保全とインフラ整備のバランスが重要であることが伺えます。

今後のまちの姿について

9. 10年後の下諏訪町がどんなまちになったら良いと思うか（※複数回答可）

回答	件数(件)	割合(%)
文化・スポーツ活動がさかんなまち	38	10.83%
犯罪のないまち	38	10.83%
自然や環境を大切にするまち	36	10.26%
学校の施設・設備が充実しているまち	31	8.83%
湖を活用して発展するまち	30	8.55%
道路や電車、バスが利用しやすいまち	30	8.55%
きれいな住宅地のあるまち	26	7.41%
多くの人が観光・レクリエーションに来るまち	25	7.12%
子どもがすこやかに育ちやすいまち	20	5.70%
災害へ備えているまち	18	5.13%
事故のないまち	17	4.84%
商工業がさかんなまち	14	3.99%
みんなが協力してまちづくりをするまち	10	2.85%
下諏訪町からの情報提供がたくさんあるまち	7	1.99%
健康づくりや福祉の内容が多いまち	7	1.99%
農林業や漁業がさかんなまち	2	0.57%
その他	2	0.57%
合計	351	100%



- ・「文化・スポーツ活動がさかんなまち」と「犯罪のないまち」（各 10.83%）が最も高い割合を占め、安心・安全な環境と文化・スポーツの活発な地域を理想としていることがわかります。
- ・「文化・スポーツ活動がさかんなまち」と回答した割合は、小学生 4.58%、中学生 10.83%。中学生においては、項番 8 の「町が注力すべき分野」の 1 位に「スポーツや遊びの場を増やしてほしい」が挙げられ、心身ともに健全に過ごせる場を必要としています。
- ・全体の傾向として、安心・安全の確保と自然等地域資源の活用を軸としたバランスの取れたまちづくりが求められています。

まちづくりに対しての意見、提案など

10. 自由記載（73 件）

- ・ **道路環境整備（車道、歩道、自転車道）、交通安全対策について（20 件）**
「通学路を広く安全してほしい」、「安全性向上のため歩道と道路を分けてほしい」、「自転車専用道路がほしい」等の意見が寄せられました。
- ・ **防災、防犯、安全な生活について（16 件）**
「街灯を増やして夜間の安全を確保してほしい」といった意見が多数寄せられました。防犯対策を強化し、生徒の安心・安全な暮らしへの整備が求められています。
- ・ **地域の魅力向上（公共交通、観光施策、景観、商業施設）（14 件）**
地域活性化に関する提案も多く見られました。「電車を増やしてほしい」、「観光に来た人たちが移動しやすい町にする」、「自然を活用した観光場所を増やしてほしい」、「ショッピングモールを作れば町にお金が入る」等、魅力向上に関する提案がありました。
- ・ **自然環境保全、清掃活動、ごみ等について（11 件）**
「諏訪湖をきれいにしてほしい」「ヒシをとってほしい」など自然環境保全についての意見が見られるとともに、「諏訪湖をきれいにするボランティアをもっと行った方がよい」等、皆できれいにするという提案も寄せられました。
- ・ **公共施設、公園、運動施設、居場所の整備等について（7 件）**
「老朽化したスポーツ施設の改修工事を行ってほしい」、「図書館を増やしてほしい」、「スポーツ施設を無料にしてほしい」、「学生が落ちついて勉強や食事ができる場所が増えるといい」などの意見から、居場所の充実が求められています。
- ・ **その他（5 件）**
「段差の大きい階段を減らし、障がい者や高齢者に優しいスロープを作る」といったバリアフリー化の提案、子育て支援などすべての住民が快適に暮らせる環境整備とともに、移住施策、学校設備の充実が求められています。